

「生活者としての外国人」に対する
日本語教育の標準的なカリキュラム案
活用のためのガイドブック

平成23年1月25日

文化審議会国語分科会

目次

1	はじめに……………	1 ページ
2	標準的なカリキュラム案における言語・言語習得の 考え方について……………	2 ページ
3	標準的なカリキュラム案の活用及び指導方法 について……………	4 ページ
4	日本語教育プログラムの作成手順……………	7 ページ
5	日本語教育プログラムの具体例……………	15 ページ
6	活動方法の例の具体的内容……………	37 ページ
7	参考資料……………	53 ページ

1 はじめに

文化審議会国語分科会日本語教育小委員会は平成19年7月に設置され、これまで「生活者としての外国人」に対する日本語教育の体制整備、内容の改善について審議を行ってきました。

この審議の成果として、平成22年5月19日には「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案について」（以下、「標準的なカリキュラム案」という。）を取りまとめて公表しました。

標準的なカリキュラム案が示す内容は飽くまでも「標準的な内容」ですので、各地域で日本語教育を行う際は、標準的なカリキュラム案に工夫を加え、地域の実情や外国人の状況に応じたプログラムを編成することが必要です。

このことを踏まえて、今回、日本語教育小委員会においては、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案 活用のためのガイドブック」（以下、「ガイドブック」という。）を作成しました。これは標準的なカリキュラム案を基にして、地域の実情や外国人の状況に応じた日本語教育プログラムを編成する際の考え方や作成手順、さらにその中で用いる教室活動の方法を解説したものです。

標準的なカリキュラム案とは…

【基本的な考え】

- ・「生活者としての外国人」に対する日本語教育は、対話による相互理解の促進及びコミュニケーション力の向上を図り、「生活者としての外国人」が日本語を用いて社会生活へ参加できるようになることを目指すものです。標準的なカリキュラム案は、その日本語教育の具体的な内容やプログラムを検討・作成する際の基となるものです。

【内容】

- ・生活の基盤を形成する上で必要不可欠であると考えられる生活上の行為の事例、そこで必要となる日本語学習の項目・要素、関連する社会・文化的な情報などから構成されています。

【想定している利用者】

- ・各都道府県、市町村における日本語教育担当者等、各地域において日本語教育のコーディネーター的役割を果たす人に活用されることを想定しています。そのほかにも、各都道府県、市町村において、日本語教育施策や事業の企画を行う人や、教室活動を行う人などに利用されることを想定しています。

参考 「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案について
http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/kyouiku/nihongo_curriculum/index.html

2 標準的なカリキュラム案における言語・言語習得の考え方について

「生活者としての外国人」とは、誰もが持っている「生活」という側面に着目して、我が国において日常的な生活を営む全ての外国人を指す言葉です。日本語が主たるコミュニケーション手段となっている我が国において、「生活者としての外国人」には、生活場面と密着したコミュニケーション活動を可能とする能力を獲得することが求められます。そこで、日本語教育小委員会においては、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の目的と目標を以下のように整理しています。

(1) 目的

言語・文化の相互尊重を前提としながら、「生活者としての外国人」が日本語で意思疎通を図り生活できるようになること

(2) 目標

- 日本語を使って、健康かつ安全に生活を送ることができるようにすること
- 日本語を使って、自立した生活を送ることができるようにすること
- 日本語を使って、相互理解を図り、社会の一員として生活を送ることができるようにすること
- 日本語を使って、文化的な生活を送ることができるようにすること

標準的なカリキュラム案は上記の目的・目標を達成するためのものですが、言語や言語学習については以下のように考える立場に立っています。

言語や言語学習についての考え方

【言語について】

言語は、人が生活する上でとても重要なものです。思考力や想像力を高めたり、感情や考えを表現したり、また、周囲の人と触れ合いや語り合いをしたりする際に大きな役割を果たします。標準的なカリキュラム案では、言語がこうした多様な役割を果たしている様々な生活上の行為を扱います。

言語生活（言語環境）は話し言葉と書き言葉などから構成されています。標準的なカリキュラム案では、このうち書き言葉で用いる文字表記そのものの指導や学習には触れていません。しかし、日常生活で接する日本語の書き言葉は、漢字・平仮名・片仮名・アルファベットなど数種の文字体系で書き表され、複雑な表記の姿を見せていることに留意する必要があります。

【言語学習について】

標準的なカリキュラム案は「生活者としての外国人」が「日本語を用いて生活上の行為を行えるようになること」を目指していますが、そのための言語学習は学習者が生活の中で実際に必要性を感じて初めて意識され、進むものです。この意味で、学習者自身が生活の中で実際に必要性を感じ、「できるようになりたい」と望む生活上の行為を適切に選ぶことが積極的な言語学習につながります。同様に、話し言葉と書き言葉についても、学習者が生活上の必要性を感じる部分を適切に選択することが必要です。

【教室活動について】

言語学習を促進するためには、学習者が必要性を感じ、「できるようになりたい」と望む生活上の行為と教室活動とがつながっていることが不可欠です。具体的には、実際に生活上の行為を体験してみるほか、実物やイラスト、写真を活用し、さらに学習者が実際のコミュニケーション行動を行う行動中心の教室活動を展開することが有効です。

また、言語学習の過程には、学習者の多様な側面（興味関心・学習スタイル等）が関わります。学習者の多様な側面に配慮した教室活動を行うためにも、地域における日本語教育の専門家と協働し、適切なプログラムを作成することが学習者の言語学習の進展や充実につながります。

【日本語教室から地域社会へ】

教室活動では学習者の主体性を重視する必要があります。主体的かつ自律的な態度が日本語学習に対する自信と日本語力を高めることにつながり、学習者自ら日々の生活を通じて学び続ける生涯学習へとつながっていきます。

また、教室を離れても主体的かつ自律的に日本語学習が続けられるという自信を持つてもらうことが大切です。そのため、日本語学習が外国人にとって地域社会で生きていくための基盤となるよう、学習の過程においても地域住民との協働活動をできる限り取り入れ、教室活動が、日常生活における対等な人間関係、さらにはネットワークの構築につながっていくよう工夫することが必要です。

新たに社会に参入する「生活者としての外国人」にとって、日本語習得はそれ自体が最終目標ではありません。獲得された意思疎通の手段により、人とつながること、言葉の壁によって発揮できていなかった自分らしさや力を取り戻したり、発揮できたりするようになること、そして社会の一員として自立し、社会生活のあらゆる領域に参画すること、つまり「エンパワメント」を実現することによって初めて目標に到達したと言えます。そのことをしっかりと見据えて、地域における具体的なプログラムを構築することが大切です。

3 標準的なカリキュラム案の活用及び指導方法について

標準的なカリキュラム案の言語・言語学習の考え方に基づき、活用・指導方法のポイントをまとめると以下のようになります。

活用及び指導方法に関するポイント(標準的なカリキュラム案から抜粋)

地域・学習者に応じた教育内容の選択と工夫

- 適宜修正を加え, 各地域の状況や学習者の日本語レベルやニーズに合わせることが必要 (6ページ, 23行目)
- 各地域において取り上げる生活上の行為の事例を的確に選択し, 具体的なプログラムとして配列する必要がある (6ページ, 16行目)
- 文字や発音, 基礎的な文法事項などは各地域において日本語教育の具体的な内容を検討する際に必要に応じて取り扱うことを想定 (5ページ, 33行目)
- 「生活者としての外国人」に対する日本語教育の目的・目標を達成するためには, 学習者は標準的なカリキュラム案で示した生活上の行為の事例を網羅的に行えるようになる必要がある (6ページ, 19行目)

行動・体験中心の活動

- 生活上の行為を行えるようになるということはその生活上の行為が行われる場面に関係する言語・社会・文化的な知識を使って行動できるようになることである (6ページ, 27行目)
- 生活場面と密着したコミュニケーション活動を可能とする能力につながる教室活動を充実すること (7ページ, 17行目)
- カリキュラム案で取り上げた学習項目を体験的に学ぶ (7ページ, 19行目)

専門家・地域住民との協働

- カリキュラム案の「場面」の「相手」で取り上げられている人や, 学習者と母語が同じでかつ滞日期間が長く, 日本の生活に詳しい人の協力や参加を得ることで, より具体的に効果的な教室活動を展開することができる (8ページ, 2行目)
- 地域における日本語教育に精通した専門家の助言を受けることが望ましい (8ページ, 22行目)

対話による相互理解の促進

- 日本社会における規範の押し付けにならないような配慮が必要。互いの文化の理解が深まるような対話を盛り込んだ教室活動を行う工夫が求められる (6ページ, 33行目)
- 日本人側も「生活者としての外国人」が置かれている状況や背景を理解していくことが重要であり, 学習者自身が自分の背景や文化を日本人側に提示できるような配慮が必要 (7ページ, 21行目)
- 文化交流・対話の場を設け, 指導者と学習者, 学習者同士が互いの社会・文化について学べるように工夫すること (7ページ, 23行目)

「標準的なカリキュラム案」や「2 標準的なカリキュラム案における言語・言語習得の考え方について」、「3 標準的なカリキュラム案の活用及び指導方法について」で示したような考えを各地域において編成する日本語教育のプログラムに具体的に反映させるにはどうすればよいのでしょうか。

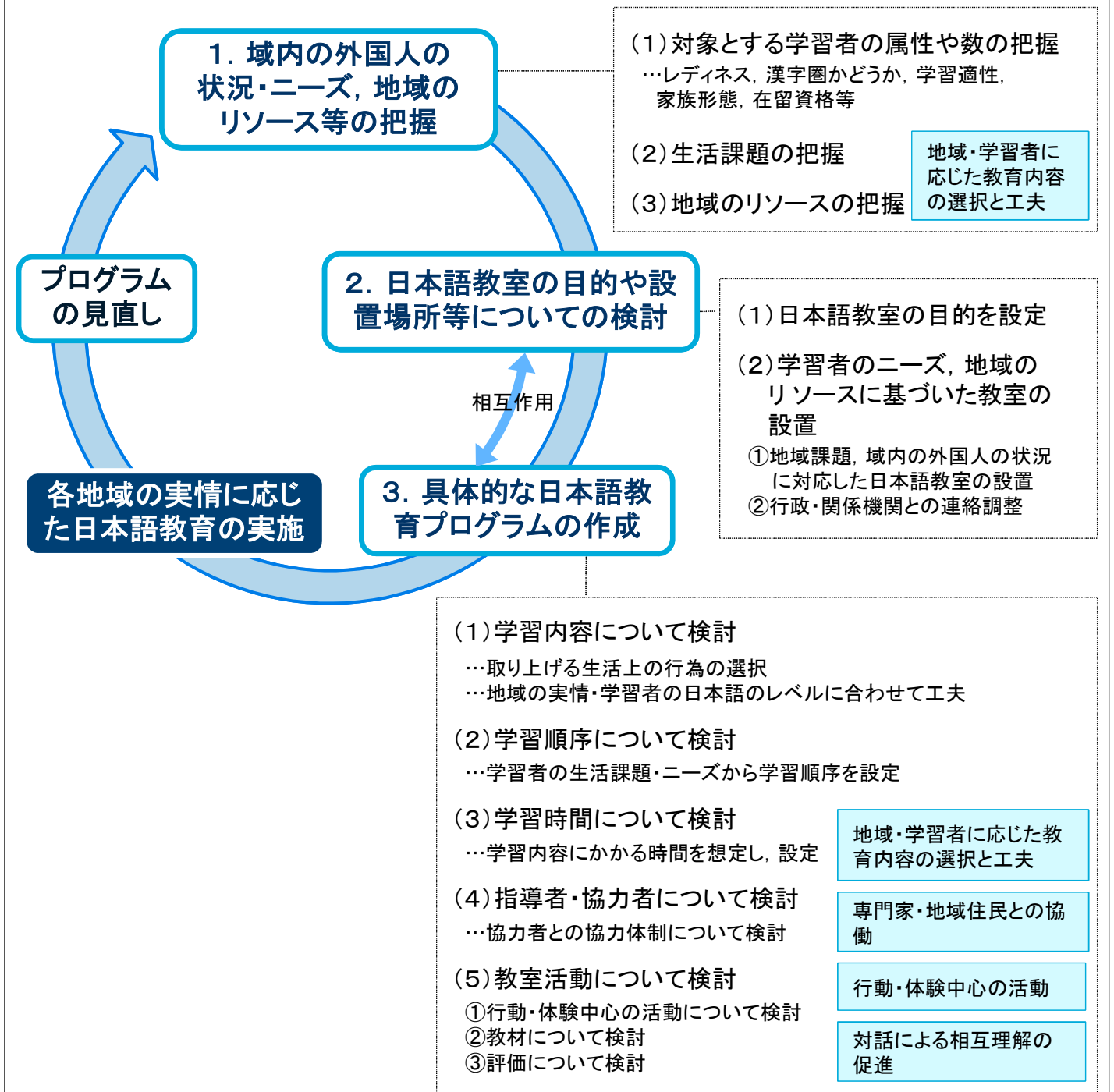
本ガイドブックでは、まず「4 日本語教育プログラムの作成手順」で標準的なカリキュラム案を基に、各地域で日本語教育プログラムを作成する際の手順を、段階を追って図示し、説明します。次に「5 日本語教育プログラムの具体例」で、この手順に基づいて日本語教育プログラムを作成した場合、どのような編成になるのかということを、地域に在住する「生活者としての外国人」の例を三つ取り上げて示します。また、「6 活動方法の例の具体的内容」で学習者が実際のコミュニケーション行動を行う行動中心の活動の方法を具体的に示します。最後に「7 参考資料」で、各地域において日本語教育プログラムを作成する際や、学習者が自ら必要な生活上の行為を選択する際の資料として、「標準的なカリキュラム案で扱う生活上の行為の事例」を日本語、中国語、英語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語で掲載しています。

4 日本語教育プログラムの作成手順

ここでは、標準的なカリキュラム案を基に、地域の実情・学習者の状況に応じた日本語教育プログラムをどのように作成するか、手順を示します。その手順は下の図のように、「1. 域内の外国人の状況・ニーズ、地域の資源等の把握」から始まり、「2. 日本語教室の目的や設置場所等についての検討」、「3. 具体的な日本語教育プログラムの作成」と進みます。

次ページ以降、それぞれの手順について例を交えながら説明します。なお、明朝体 で示されている部分は、各地域において検討すべき内容の例示です。

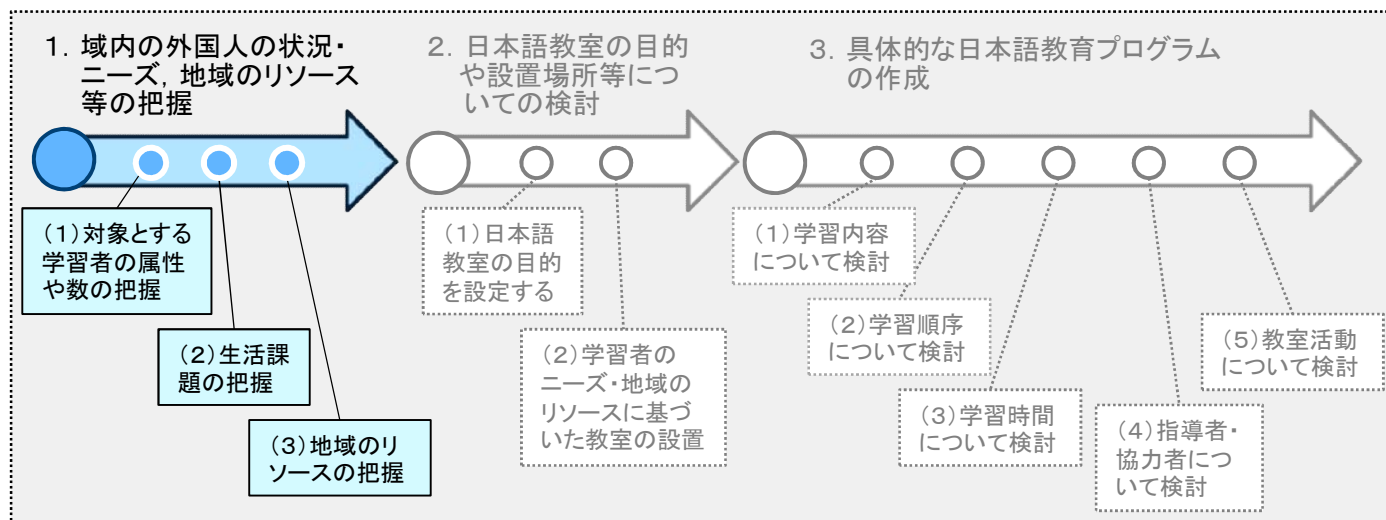
【作成手順の図】



4.1 域内の外国人の状況・ニーズ、地域の資源等の把握

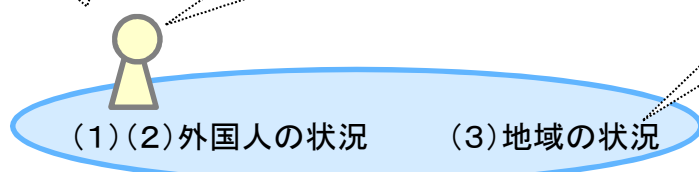
地域の実情に応じた日本語教育を展開するために、まずは地域の状況（地域における外国人の増減とその理由等）、域内の外国人の状況（生活課題等の個別の状況等）について把握することが必要です。情報収集の方法について、外国人本人にアンケートやインタビューを行うだけでなく、行政関係機関や地域住民等と幅広く、かつ継続的に情報交換を行うことが地域の実情・外国人の状況の適切な把握につながります。

【作業全体の中での位置付け】



【作業の内容】

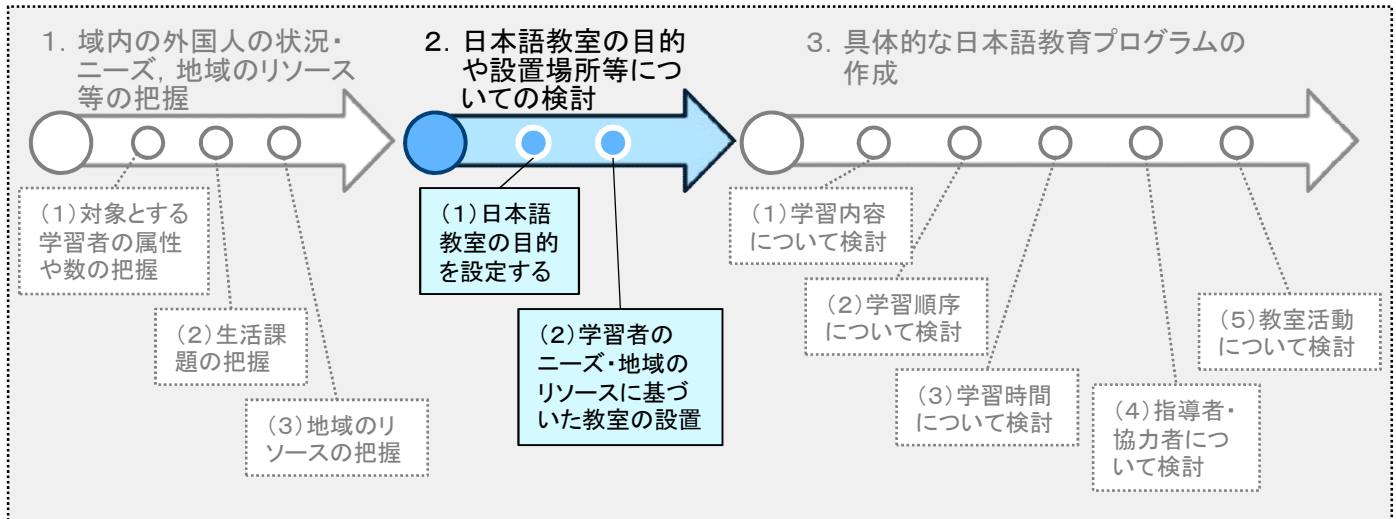
(1) 対象とする学習者の属性や数の把握 ○レディネス（日本語学習をどの程度行っているか） ○漢字圏かどうか ○学習適性（過去の言語学習経験等） ○家族形態 ○在留資格 ○定住志向	(2) 生活課題の把握 ○日常生活（使用言語と使用場面、日本語でのやり取りが求められる場面、日本語学習に割ける時間） ○生活面で課題として抱えていること 1) 今すぐできないと困ること 2) その他、今できるようになりたいこと 3) 今後できるようになりたいこと 4) いつかはできるようになりたいこと ※「1) 今すぐできないと困ること」や「2) その他、今できるようになりたいこと」、「3) 今後できるようになりたいこと」等の順に並べ、優先度を示すリストを作成する	(3) 地域の資源の把握 ○教室に使える場所 ○指導者 ○協力者の有無 ○協力機関の有無 ○多言語での情報の有無 ○通訳が配置されている場面
--	---	--



4.2 日本語教室の目的や設置場所等についての検討

域内の外国人の状況・ニーズ、地域の資源等を基に、外国人の社会参加・エンパワメントにつながるように日本語教室の目的を設定することが必要です。また、時間や場所は学習者の通いやすいものとする必要がありますが、その際、行政だけでなく、例えば学校や企業等、外国人に関わりのある機関、団体の協力を得ることが円滑な教室運営につながります。

【作業全体の中での位置付け】



【作業の内容】

(1) 日本語教室の目的を設定

○漠然とした学習者像ではなく、域内の外国人の状況を踏まえた上で「具体的な学習者像」を設定し、そこから生活課題の改善に向けた教室の目的を設定する。

○外国人の社会参加、エンパワメントにつながる目標設定を行う。

(2) 学習者のニーズ・地域の資源に基づいた教室の設置

① 地域課題、域内の外国人の状況に対応した日本語教室の設置(場所、日時等)

例：日系人就労者

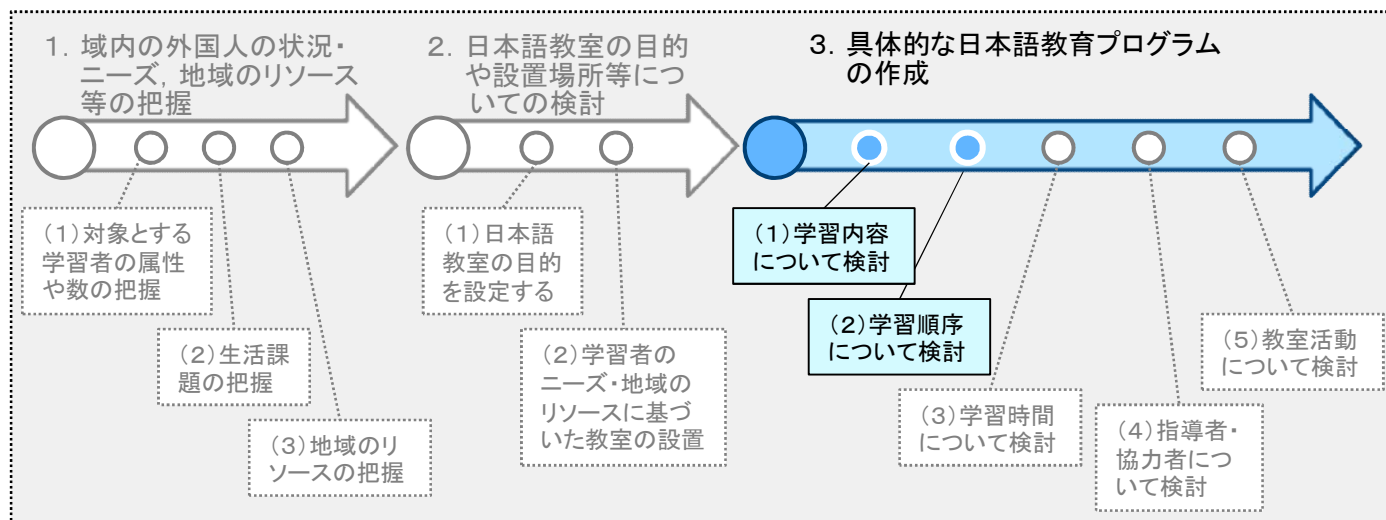
→土日や平日夜間、受入企業と連携した日本語教室…等

② 行政・関係機関との連絡調整

4.3 具体的な日本語教育プログラムの作成(1)～(2)

日本語教育のプログラムを作成する際、外国人の生活課題を解決し、社会参加・エンパワメントにつながるものにすることが基本です。具体的には生活課題の解決につながるような生活上の行為を優先度が高いものから順に配列します。また、標準的なカリキュラム案で示している生活上の行為は地域性に対応したものではないので、それぞれの地域や外国人の状況に応じて工夫を加える必要があります。なお、【作業の内容】の部分では分かりやすくするため、具体例として「日系人就労者Aさん(※本書16ページ参照。)」を取り上げ、手順の内容を示しています。

【作業全体の中での位置付け】



【作業の内容】

(1) 学習内容について検討

日系人就労者Aさんの場合

①生活課題から優先度が高いものを選択する。

生活課題の優先度	生活課題の内容(できるようになりたいこと)
1) 今すぐできないと困ること	生活ルールや地域の集まりについて知る
2) その他、今できるようにになりたいこと	住民としての手続をする
3) 今後できるようにになりたいこと	行動範囲を広げ、知り合い・友達を増やす
4) いつかはできるようにになりたいこと	仕事で使う専門的な日本語を知る

②生活課題の内容(できるようになりたいこと)に該当する生活上の行為を標準的なカリキュラム案から選択する。

標準的なカリキュラム案で扱う生活上の行為 (全30単位)
○ 健康・安全に暮らす(7単位)
○ 住居を確保する・維持する(2単位)
○ 消費活動を行う(4.5単位)
○ 目的地に移動する(3.5単位)
○ 人とかかわる(2.5単位)
○ 社会の一員となる(4.5単位)
○ 自身を豊かにする(2単位)
○ 情報を収集・発信する(4単位)

※生活上の行為の一覧については本書54～55ページ参照。
なお、単位数については標準的なカリキュラム案12～13ページ参照。

- ③生活課題の内容(できるようになりたいこと)に該当する生活上の行為から、より具体的な事例を選び出す。
(※下の表は選択後の事例を例示。7桁の数字は標準的なカリキュラム案14～98ページの「事例2(下位項目)」の数字に対応。)

標準的なカリキュラム案における生活上の行為の事例
○ 社会の一員となる(4. 5単位) 3501100 行事に参加する 3501050 自治会の会員になる
○ 社会の一員となる(4. 5単位) 3401080 居住地域のゴミ出しの方法について 隣人に質問する 3402030 マナーについて人に相談する
○ 人とかかわる(2. 5単位) 3101060 相手に合わせたあいさつをする 3101130 人間関係のきっかけを作るあいさつをする

- ④地域の実情・学習者の日本語のレベルに合わせて事例に工夫を加える。

各教室で行う日本語教育の内容
・地域の行事について情報を得る ・地域の自治会の申込書を読む
・ゴミの分別について情報を集める ・隣人に分からないことを質問する
・挨拶の種類を知る

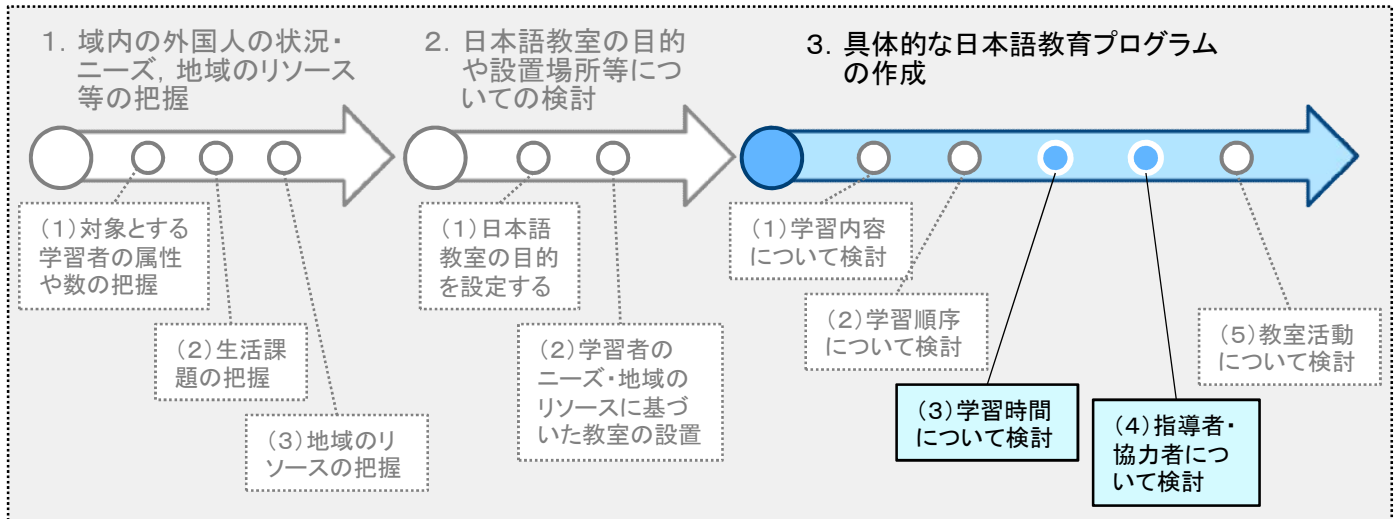
(2) 学習順序について検討

- 学習者の生活課題の優先度に合わせて学習順序を設定する。
○具体的には、「4. 1 域内の外国人の状況・ニーズ、地域のリソース等の把握」の「(2)生活課題の把握」の「1)今すぐできないと困ること」、「2)その他、今できるようになりたいこと」…の順に設定する。

4.3 具体的な日本語教育プログラムの作成(3)～(4)

日本語教育プログラムにおける時間配分は、学習者による個人差に留意することが必要です。また、日本語教室では日本語の指導者だけでなく、広く地域住民の参加・協力を得ることが有効です。教室活動により、学習者と地域住民との接点を作り、外国人が地域社会で暮らす際のネットワークの構築・社会参加につなげていくことが期待されます。

【作業全体の中での位置付け】



【作業の内容】

(3) 学習時間について検討

○以下の表に挙げる事項のほか、学習スタイル(目型, 耳型), 学習戦略の傾向, 目標設定等を踏まえ、学習にかかる時間を設定する。

○学習時間について設定する際、個々の学習者により必要となる学習時間は異なるが、地域における日本語教室においてはより時間がかかる学習者が教室活動から排除されないよう留意する。

必要となる学習時間が短い	必要となる学習時間が長い
日本での生活経験が長い	日本での生活経験が短い
言語学習経験が長い	言語学習経験が短い
日本語学習経験が長い	日本語学習経験が短い
読み書きがあまり必要ではない	読み書きが必要である
自習時間が確保できる	自習時間が確保できない
漢字圏	非漢字圏

(4) 指導者・協力者について検討

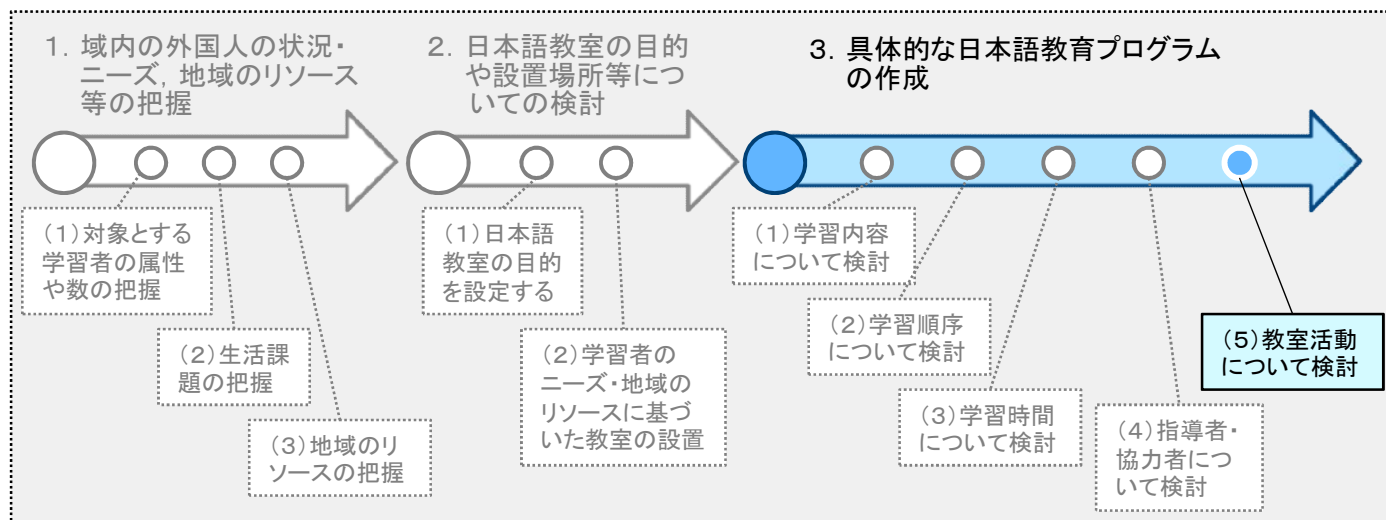
○以下の表に示す学習者の状況に基づいて、協力者とその協力体制について検討する。

学習者の状況	求められる協力者とその協力体制
日本での生活経験が短く、日本語学習経験も短い	指導者のほか、日本での生活経験が長く、学習者と母語が同じ人が参加することが望ましい。
日本での生活経験は長い、日本語学習経験が短い	指導者のほか、日本での生活経験が長く、学習者と母語が同じ人や地域住民が参加することが望ましい。
日本での生活経験も長く、学習経験も長い	指導者のほか、地域住民が参加できるような体制を組み、対話・交流を中心とした教室活動を盛り込むことが望ましい。

4.3 具体的な日本語教育プログラムの作成(5)

「生活者としての外国人」に対する日本語教育では、必要に応じて、教室外での行動・体験中心の活動も積極的に行うことが言語学習の促進につながります。その際、各日本語教室の体制や取り扱う生活上の行為に合わせて行動・体験中心の活動を適切に組み合わせて、実施することが重要です。

【作業全体の中での位置付け】



【作業の内容】

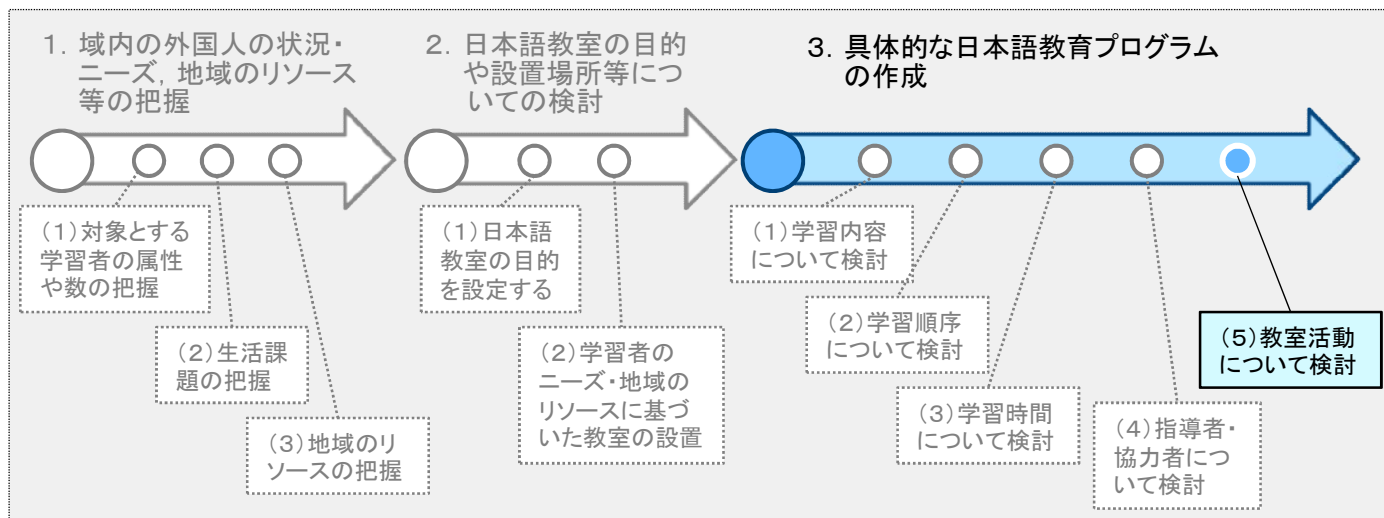
(5) 教室活動について検討

① 行動・体験中心の活動について検討

・行動・体験中心の活動について

行動・体験中心の活動を行うための条件	行動・体験中心の活動の内容(例)	取り扱う生活上の行為の事例 (※7桁の数字は標準的なカリキュラム案14～98ページの「事例2(下位項目)」の数字に対応)	活動方法の例 (※活動方法の詳細は本書37～52ページ参照)
関係機関の協力を得ることができる	・関係機関の協力の下、生活上の行為が行われる場所を訪問したり、施設見学、シミュレーション等を行いながら日本語を学ぶ。	4403030 利用方法を尋ねる(地域の公共施設) 4501100 手紙や葉書を書いて送る	・施設見学 ・シミュレーション
実体験を行うことができる	・生活上の行為を体験しながら日本語を学ぶ。 ・いきなり体験をすることが難しい場合は最初に観察を行う。	0801050 デパート、スーパーマーケット、コンビニ、電器店、書店等で買い物をする 1004060 券売機を利用する	・実体験
協力者・ゲストの参加が得られる	・協力者・ゲストを招き、教室活動を行う。 ・フォトランゲージやランキング等により、広く対話・交流を中心とした活動を行う。	0301090 流行性の病気についての情報を理解し、適切に対処する 3302080 支払方法を確認する(各種税金)	・フォトランゲージ ・ランキング等
視聴覚機器が利用できる	・ロールプレイにより学ぶほか、生活上の行為を見て学ぶ。	(視聴覚機器による)	・ロールプレイ等

【作業全体の中での位置付け】



【作業の内容】

(5) 教室活動について検討

②教材について検討

○教室活動において、こういった教材を使用するかについて検討を行う。

○①の教室活動で扱う生活上の行為を行う際に用いることのできる「多言語情報」、生活上の行為の場面を示した「写真」や「イラスト」、「やり取りの例」に含まれる表現等、生活上の行為を行う上で有効な情報が含まれるものを教材として活用することが重要である。

③評価について検討

○外国人の社会参加・エンパワメントにつながるプログラムになっているかどうかについて検討を行う。

○評価は、生活上の行為を行うことができるようになったかどうかという学習者に対する評価だけでなく、日本語教育実施側が学習者に対して適切な日本語教育プログラムを提供できたかどうかということの評価することが重要である。

○日本語教育プログラムに対する評価について、具体的には外国人の生活課題の解決につながる教室活動が展開できたかどうか、地域の実情に応じた教室活動の展開ができたかどうか、教室活動が地域における人間関係やネットワークの構築につながったかどうか、地域住民との間で相互理解の促進が進んだかどうかといった観点から評価を行い、具体的な日本語教育プログラムの振り返りを行う。

5 日本語教育プログラムの具体例

ここでは、「4 日本語教育プログラムの作成手順」(本書7～14ページ)に従って、日本語教育プログラムの作成手順及び日本語教育プログラムの具体例を示します。その際、具体的なイメージを持ちやすい以下の三つの学習者を例として取り上げています。

【具体例で取り上げる学習者の例】

例1	例2	例3
 Aさん	 Bさん	 Cさん
日系人就労者	国際結婚で来日	技能実習生
日系人コミュニティで生活	地域社会の中で生活	地域社会との接点が限られている

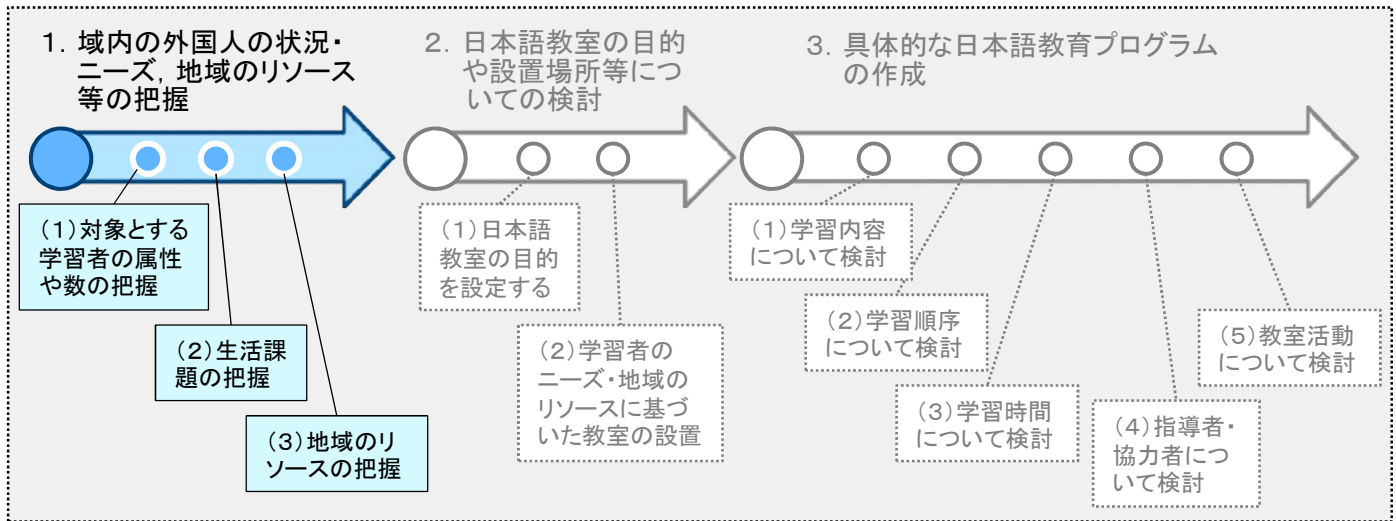
実際に「日系人就労者を対象とした日本語教室」や「国際結婚で来日した人を対象とした日本語教室」を開設した場合でも、様々な学習者が集まることも想定されますが、ここでは飽くまでも具体的な日本語教育プログラムを作成する際の参考として、ポイントが把握しやすいように対象を特定した形で例を示します。

また、「4 日本語教育プログラムの作成手順」と同様に明朝体で示されている部分は、各地域において検討すべき内容の例示です。

例1) 日系人就労者のAさんの場合

1. 域内の外国人の状況・ニーズ、地域のリソース等の把握

【作業全体の中での位置付け】



【作業の内容の例】

(1) 対象とする学習者の属性や数の把握

- ・レディネス(日本語学習をどの程度行っているか)
⇒来日3か月、日本語学習経験なし
- ・漢字圏かどうか
⇒非漢字圏
- ・学習適性(過去の言語学習経験等)
⇒英語(挨拶程度)
- ・家族形態
⇒妻、子供(小学生)
- ・在留資格
⇒定住者
- ・定住志向
⇒当面は日本で生活の予定

(2) 生活課題の把握

○日常生活(使用言語と使用場面、日本語でのやり取りが求められる場面、日本語学習に割ける時間)

⇒勤務時間が長く、自習時間を取ることは困難。職場の指示は基本的には日本語だが、時折通訳が来る。それ以外はポルトガル語で生活を行っている。

○生活面で課題として抱えていること

生活課題の優先度	生活課題の内容(できるようになりたいこと)
1) 今すぐできないと困ること	生活ルールや地域の集まりについて知る
2) その他、今できるようになりたいこと	住民としての手続をする
3) 今後できるようになりたいこと	行動範囲を広げ、知り合い・友達を増やす
4) いつかはできるようになりたいこと	仕事で使う専門的な日本語を知る

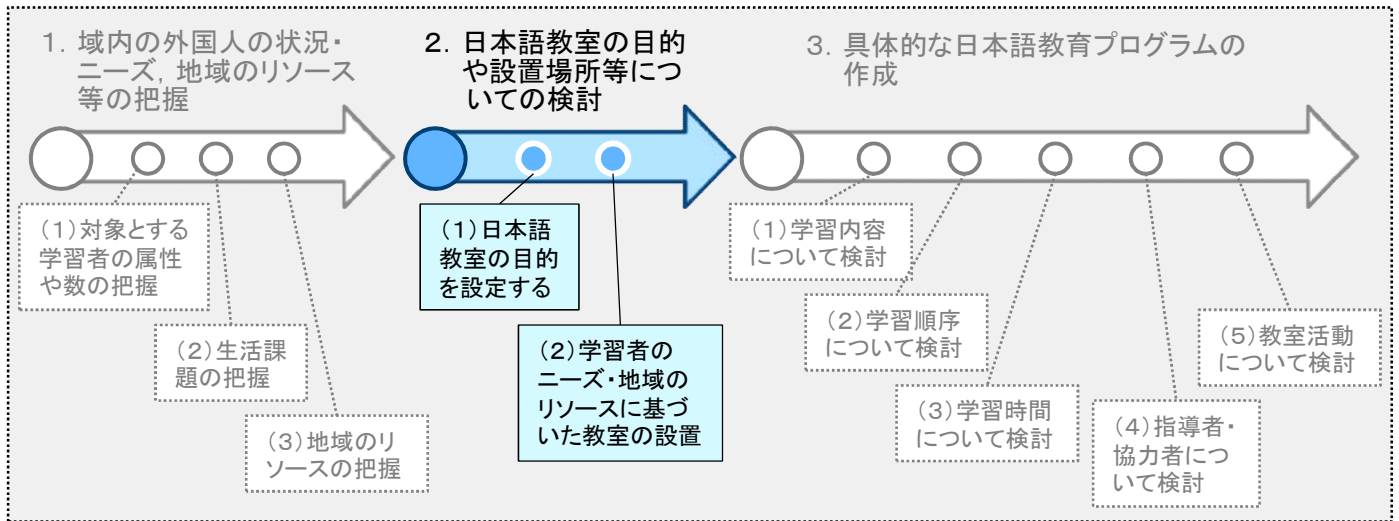
(3) 地域のリソースの把握

- ・教室に使える場所
⇒地域の公民館
- ・指導者
⇒地域在住の日本語教師経験者
- ・協力者の有無
⇒母語が同じで日本在住が長い外国人、地域住民
- ・協力機関の有無
⇒地域の公民館(場所の提供)
- ・多言語での情報の有無
⇒市役所で基本的な生活情報が多言語で提供されている
- ・通訳が配置されている場面
⇒職場(常駐ではない) 市役所の手続の場面のみ

日系人就労者Aさん 地域の状況

2. 日本語教室の目的や設置場所等についての検討

【作業全体の中での位置付け】



【作業の内容の例】

(1) 日本語教室の目的を設定する

○漠然とした学習者像ではなく、域内の外国人の状況を踏まえた上で「具体的な学習者像」を設定し、そこから生活課題の改善に向けた教室の目的を設定する。

○外国人の社会参加、エンパワメントにつながる目標設定を行う。

⇒行動範囲や人間関係が日系人コミュニティ内に限られているため、まずは居住地域の生活のルールや手続等について知ること、さらに地域住民との関係を構築することにより、地域社会に参加できるようになる。

(2) 学習者のニーズ・地域のリソースに基づいた教室の設置

①地域課題、域内の外国人の状況に対応した日本語教室の設置(場所、日時等)

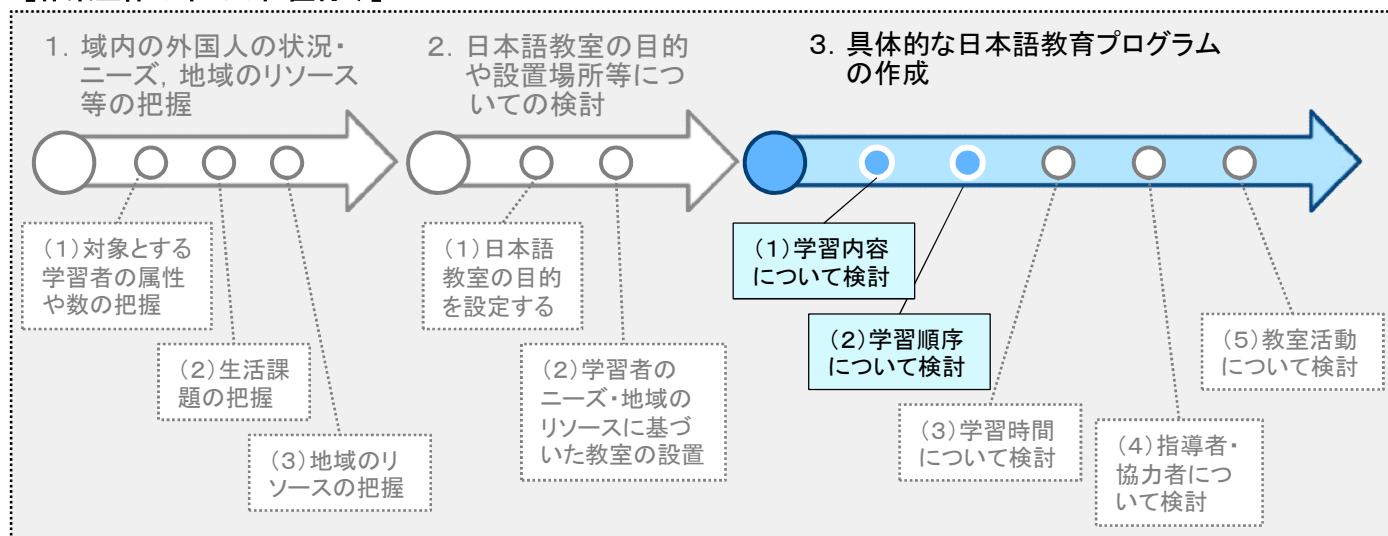
⇒平日は仕事のため、週末の午前中に公民館で実施。

②行政・関係機関との連絡調整

⇒地元の日本語学校に勤務する日本語教師の協力、自治会等地域住民の協力と参加を求める。また、行政からは手続やイベントに関する情報を提供してもらう。

3. 具体的な日本語教育プログラムの作成(1)～(2)

【作業全体の中での位置付け】



※「(3)学習時間について検討」, 「(4)指導者・協力者について検討」, 「(5)教室活動について検討」の作業の内容の例については20ページ参照。

【作業の内容の例】

(1) 学習内容について検討

① 学習者Aさんの生活課題から, 優先度が高いものを選択する。

生活課題の優先度	生活課題の内容(できるようになりたいこと)
1) 今すぐできないと困ること	生活ルールや地域の集まりについて知る
2) その他, 今できるようになりたいこと	住民としての手続をする
3) 今後できるようになりたいこと	行動範囲を広げ, 知り合い・友達を増やす
4) いつかはできるようになりたいこと	仕事で使う専門的な日本語を知る



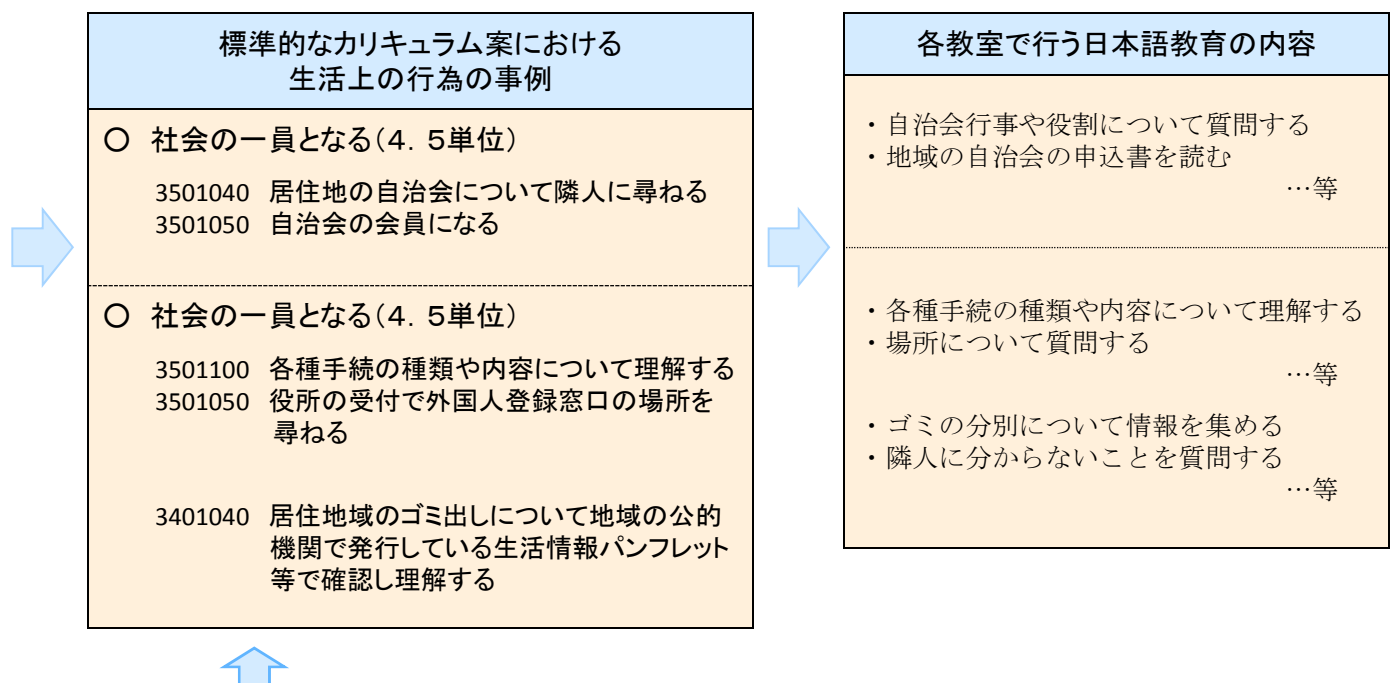
② 生活課題の内容(できるようになりたいこと)に該当する生活上の行為「社会の一員となる」を標準的なカリキュラム案から選択する。

標準的なカリキュラム案で扱う生活上の行為 (全30単位)
○ 健康・安全に暮らす(7単位)
○ 住居を確保する・維持する(2単位)
○ 消費活動を行う(4. 5単位)
○ 目的地に移動する(3. 5単位)
○ 人とかわる(2. 5単位)
○ 社会の一員となる(4. 5単位)
○ 自身を豊かにする(2単位)
○ 情報を収集・発信する(4単位)

※生活上の行為の一覧については本書54～55ページ参照。
なお, 単位数については標準的なカリキュラム案12～13ページ参照。

③「社会の一員となる」の具体例である生活上の行為の事例の中から、より生活課題に近いものを選び出す。
 (※下の表は選択後の事例を例示。7桁の数字は標準的なカリキュラム案14～98ページの「事例2(下位項目)」の数字に対応。)

④地域の実情・学習者Aさんの日本語のレベルに合わせて事例に工夫を加える。



(2) 学習順序について検討

- 学習者の生活課題の優先度に合わせて学習順序を設定する。
- 具体的には、「4. 1 域内の外国人の状況・ニーズ, 地域のリソース等の把握」の「(2)生活課題の把握」の「1) 今すぐできないと困ること」, 「2) その他, 今できるようになりたいこと」…の順に設定する。

3. 具体的な日本語教育プログラムの作成(3)～(5)

学習時間, 指導者・協力者, 行動・体験中心の活動, 教材等について検討し, プログラムを作成します。ここではプログラムの作成例を示します。

- ◆教室の目的 : 地域社会への参加 (Ⅷ 社会の一員となる ※本書54～55ページ参照)
- ◆指導者 : 地域在住の日本語教育経験者
- ◆教室の場所 : 地域の公民館
- ◆日時 : 土曜日, 10時～12時

	言語事項／社会・文化的情報の選択と工夫	目標達成のための活動	活動方法	協力者	教材
1 地域社会に参加する	・自治会行事や役割について質問する (←3501040 居住地の自治会について隣人に尋ねる)	・質問の仕方について練習し, 実際に聞いてみる	ロールプレイ	地域住民	自治会の案内
	・地域の自治会の申込書を読む (←3501050 自治会の会員になる)	・分からない部分の質問の仕方を練習した後, 自治会の申込書を読んでみる	ロールプレイ	地域住民	自治会の申込書
	・地域の行事について情報を集める (←3501100 行事に参加する)	・地域の行事について情報を集める ・地域でやりたいこと, 得意なことを発表する	インタビュー, プレゼンテーション	地域住民	自治会の案内や地域情報誌等, 地域の情報が盛り込まれたもの
2 住民としての手続きができるようになる	・各種手続の種類や内容について理解する (←3301020 各種手続の種類や内容について理解する)	・多言語情報を基に各種手続について知る	実体験	母語が同じ外国人	パンフレット等, 多言語での生活情報
	・場所について質問する (←3301080 役所の受付で外国人登録窓口の場所を尋ねる)	・質問の仕方について練習し, 実際に聞いてみる	ロールプレイ	地域住民	役所の地図や写真等
	・税金の支払い方法について知る (←3302080 支払方法を確認する(各種税金))	・窓口での支払いを申し出る表現について練習する	ロールプレイ	母語が同じ外国人	パンフレット等, 多言語での生活情報
	・確定申告, 還付申告について知る (←3303040 必要性を確認する(確定申告, 還付申告))	・申告を申し出る表現について練習する	ロールプレイ	母語が同じ外国人	パンフレット等, 多言語での生活情報
	・ゴミの分別について情報を集める (←3401040 居住地域のゴミ出しについて地域の公的機関で発行している生活情報パンフレット等で確認し理解する)	・ゴミの分別について行政関係者の協力を得て, 体験する	実体験	行政関係者	ゴミの分別リスト
	・隣人に分からないことを質問する (←3401080 居住地域のゴミ出しの方法について隣人に質問する)	・質問の仕方について練習し, 実際に聞いてみる	ロールプレイ	地域住民	ゴミの分別リスト
	・隣人に分からないことについて質問する (←3402030 マナーについて人に相談する)	・質問の仕方について練習し, 実際に聞いてみる	インタビュー	母語が同じ外国人, 地域住民	結婚式や葬式等の写真等

21ページ
参照

※()内は標準的なカリキュラム案における生活上の行為の事例(7桁の数字は標準的なカリキュラム案14～98ページの「事例2(下位項目)」の数字に対応)。

<教室活動の展開例>

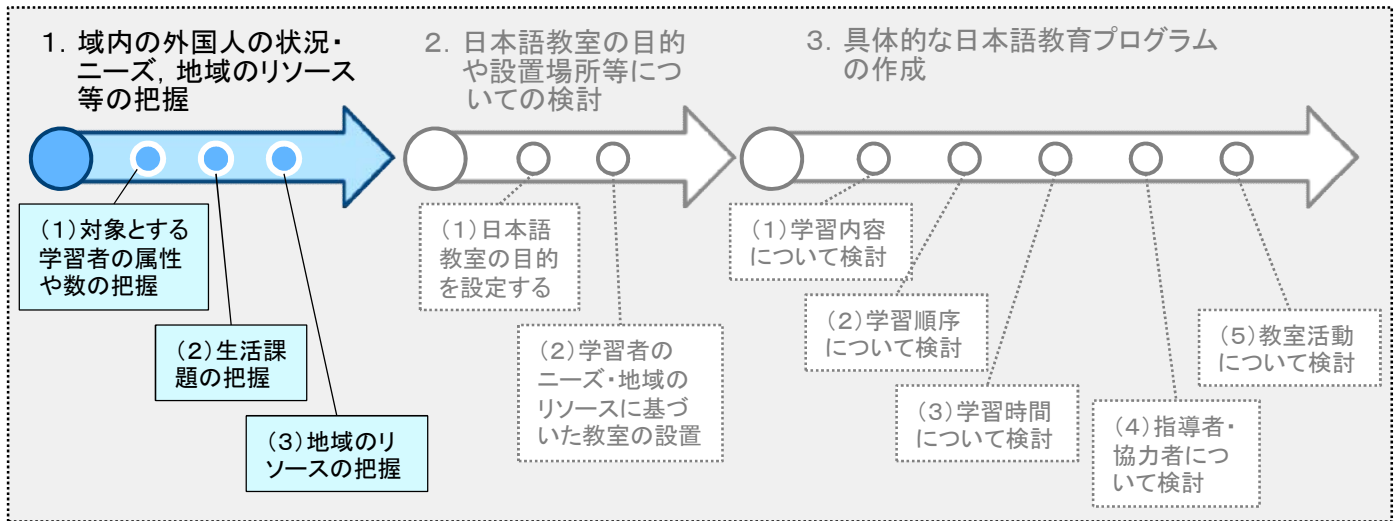
(1) 隣人に分からないことについて質問する

教室活動の内容	サポート情報等
<u>1) 様々な場面や状況における自分の行動について話す</u> ・ゴミの分別，喫煙場所，夜中のパーティー，電車の遅延，待ち合わせの時間等について描かれた絵や写真を見て，自分の行動について話す。 ・母語でもよい。 <u>2) インタビュー①</u> ・母語が同じ先輩や友人に，様々な場面や状況における行動が日本と出身国・地域とどう違うかについて聞く。 <u>3) インタビュー②</u> ・日本人協力者に，日本における規則や日本人の一般的行動様式について聞く。 【キーフレーズ】 Aさん：「たばこを吸ってもいいですか。」 隣 人：「あ，すみません，あちらの喫煙所をお願いします。」 Aさん：「はい，分かりました。」 ※キーフレーズは生活上の行為の場面で行われるやり取りから中心的な要素を取り上げて作成した例です。暗記ではなく，キーフレーズを参考に教室活動を応用・発展させてください。 <u>4) 発表</u> ・インタビュー①，②の結果をまとめて，クラス内で発表し，クラスメートや日本人協力者と意見交換をする。	<活動方法> ・インタビュー・アンケート (※本書42ページ参照) <活動方法> ・インタビュー・アンケート (※本書42ページ参照)

例2) 国際結婚で来日したBさんの場合

1. 域内の外国人の状況・ニーズ、地域のリソース等の把握

【作業全体の中での位置付け】



【作業の内容の例】

(1) 対象とする学習者の属性や数の把握

・レディネス(日本語学習をどの程度行っているか)

⇒週に1度、地域の日本語教室で学習

・漢字圏かどうか

⇒漢字圏

・学習適性(過去の言語学習経験等)

⇒英語(挨拶程度)

・家族形態

⇒夫、子供(幼稚園)、姑しゅうとめ

・在留資格

⇒日本人の配偶者等

・定住志向

⇒永住の予定

(2) 生活課題の把握

○日常生活(使用言語と使用場面、日本語でのやり取りが求められる場面、日本語学習に割ける時間)

⇒家庭や子供の幼稚園とのやり取りで日常的に日本語を用いるが、日本語学習の時間は余りない。また、来日直後から家事労働の担い手としての役割を担っており、日本語を体系的に学んだことがない。

○生活面で課題として抱えていること

生活課題の優先度	生活課題の内容(できるようになりたいこと)
1) 今すぐできないと困ること	子供が病気になったときの対応について知る
2) その他、今できるようにになりたいこと	医療機関を利用する
3) 今後できるようになりたいこと	災害への対応を知る
4) いつかはできるようにになりたいこと	地域でのネットワークを作る

(3) 地域のリソースの把握

・教室に使える場所

⇒地域の集会所

・指導者

⇒地域在住の日本語教育経験者

・協力者の有無

⇒保育ボランティア

・協力機関の有無

⇒市役所(情報提供)、子育て支援施設(情報提供、子育てに関する説明会等の講師)

・多言語での情報の有無

⇒特になし

・通訳が配置されている場面

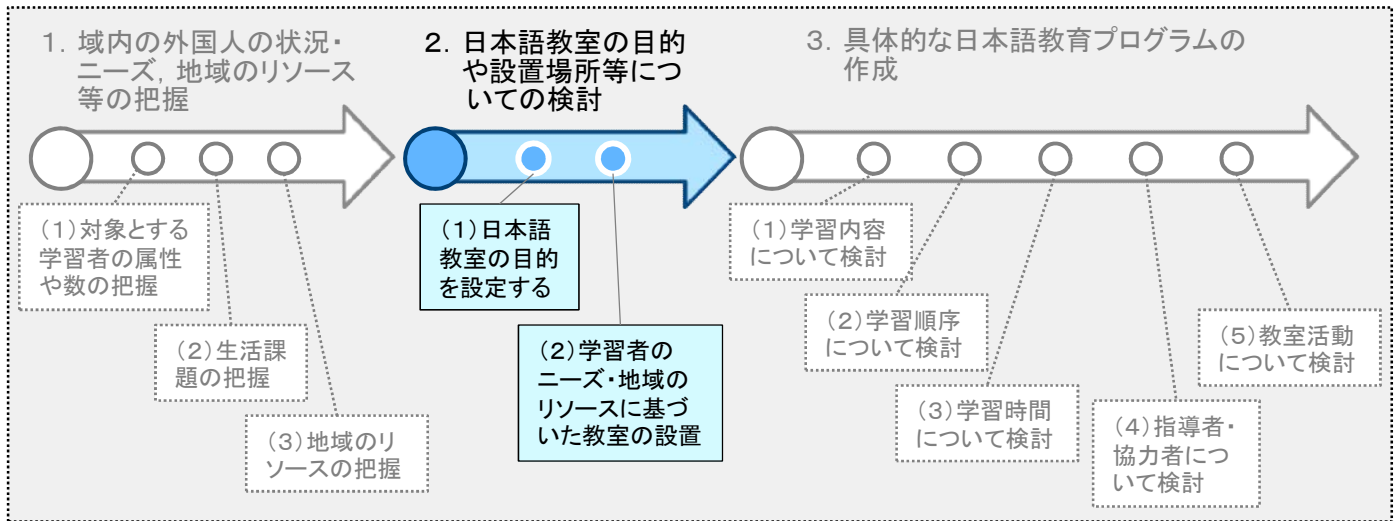
⇒通訳が必要な場合は同国出身で母語が同じ外国人の協力を得る

国際結婚で来日したBさん

地域の状況

2. 日本語教室の目的や設置場所等についての検討

【作業全体の中での位置付け】



【作業の内容の例】

(1) 日本語教室の目的を設定する

○漠然とした学習者像ではなく、域内の外国人の状況を踏まえた上で「具体的な学習者像」を設定し、そこから生活課題の改善に向けた教室の目的を設定する。

○外国人の社会参加、エンパワメントにつながる目標設定を行う。

⇒医療機関が利用できるようになり、子供の緊急時の対応ができるようになる。なお、日本語ができないことで子供の教育に十全に関われなくなっていく親がいることから、日本語学習を通して子育て・教育へ参加し続けることを支援することが必要。

(2) 学習者のニーズ・地域のリソースに基づいた教室の設置

①地域課題、域内の外国人の状況に対応した日本語教室の設置(場所、日時等)

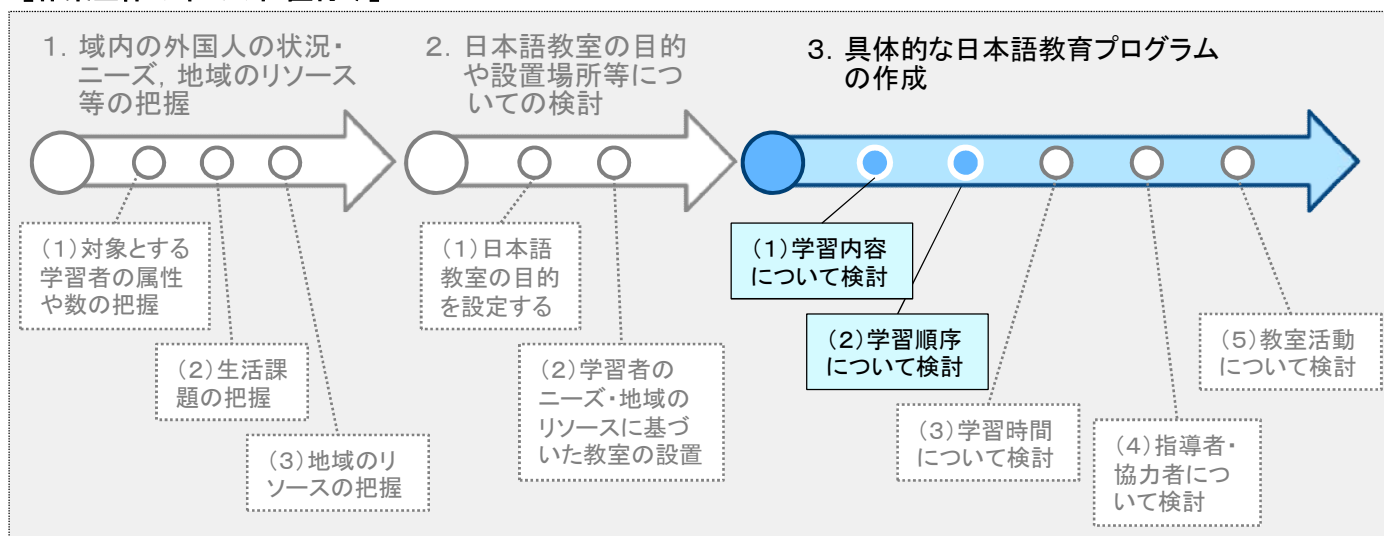
⇒子供が幼稚園に通っている時間帯である平日午前中に地域の集会所で実施

②行政・関係機関との連絡調整

⇒地域の生活情報の提供、多言語での育児や健康の相談会の開催、保育ボランティアの協力

3. 具体的な日本語教育プログラムの作成(1)～(2)

【作業全体の中での位置付け】



※「(3)学習時間について検討」, 「(4)指導者・協力者について検討」, 「(5)教室活動について検討」の作業の内容の例については26ページ参照。

【作業の内容の例】

(1)学習内容について検討

①学習者Bさんの生活課題から優先度が高いものを選択する。

生活課題の優先度	生活課題の内容(できるようになりたいこと)
1)今すぐできないと困ること	子供が病気になったときの対応について知る
2)その他, 今できるようになりたいこと	医療機関を利用する
3)今後できるようになりたいこと	災害に備える
4)いつかはできるようになりたいこと	地域のネットワークを作る



②生活課題の内容(できるようになりたいこと)に該当する生活上の行為「健康・安全に暮らす」を標準的なカリキュラム案から選択する。

標準的なカリキュラム案で扱う生活上の行為(全30単位)
○ 健康・安全に暮らす(7単位)
○ 住居を確保する・維持する(2単位)
○ 消費活動を行う(4. 5単位)
○ 目的地に移動する(3. 5単位)
○ 人とかかわる(2. 5単位)
○ 社会の一員となる(4. 5単位)
○ 自身を豊かにする(2単位)
○ 情報を収集・発信する(4単位)

※生活上の行為の一覧については本書54～55ページ参照。
 なお, 単位数については標準的なカリキュラム案12～13ページ参照。

③「健康・安全に暮らす」の具体例である生活上の行為の事例の中から、より生活課題の内容に近いものを選び出す。(※下の表は選択後の事例を例示。7桁の数字は標準的なカリキュラム案14～98ページの「事例2(下位項目)」の数字に対応。)

④地域の実情・学習者Bさんの日本語レベルに合わせて事例に工夫を加える。

標準的なカリキュラム案における 生活上の行為の事例

○ 健康・安全に暮らす(7単位)

0101060 隣人に容態を伝えて助言を求める
0102010 初診受付で手続をする

0201020 医療機関で処方せんをもらい、内容を確認する
0202050 症状を説明し、薬を求める

0501020 自治体広報、掲示、看板等を理解し、
現地を確認する
0501030 避難場所・方法を理解する・人に聞く

各教室で行う日本語教育の内容

- ・地域の医療機関の所在地を尋ねる
- ・医療機関の受付で初診の手続をする
…等
- ・薬局を利用し、服用法を理解する
…等
- ・災害時の避難場所や避難方法を確認する
- ・地震発生時に適切に行動する
…等

(2) 学習順序について検討

- 学習者の生活課題の優先度に合わせて学習順序を設定する。
- 具体的には、「4. 1 域内の外国人の状況・ニーズ、地域のリソース等の把握」の「(2)生活課題の把握」の「1)今すぐできないと困ること」、「2)その他、今できるようになりたいこと」…の順に設定する。

3. 具体的な日本語教育プログラムの作成(3)～(5)

学習時間、指導者・協力者、行動・体験中心の活動、教材等について検討し、プログラムを作成します。ここではプログラムの作成例を示します。

- ◆教室の目的：健康・安全に暮らすことができるようになる（I 健康・安全に暮らす ※本書54～55ページ参照）
- ◆指導者：地域在住の日本語教育経験者
- ◆教室の場所：地域の集会所
- ◆日時：水曜日、10時～12時

	言語事項／社会・文化的情報の選択と工夫	目標達成のための活動	活動方法	協力者	教材
1 医療機関を利用する	・地域の医療機関の所在地を尋ねる (←0101060 隣人に容態を伝えて助言を求める)	・質問の仕方を練習し、実際に聞く	ロールプレイ	地域住民、母語が同じ外国人	医療機関マップ等
	・医療機関の受付で初診の手続をする (←0102010 初診受付で手続をする)	・手続に必要な表現を練習する ・問診票の記載方法を知る	ロールプレイ	地域住民、母語が同じ外国人	多言語医療問診票
	・医師の診察を受ける (←0103010 医者からの診察を受ける) (←0103120 病気への対処法・生活上の注意などを質問し答えを理解する)	・体の部位や症状の表現を知る ・医師の指示を理解し、対応する ・質問の仕方を練習し、実際に聞く	ロールプレイ	地域住民、母語が同じ外国人	多言語医療問診票
	・調剤薬局を利用し、服用法を理解する (←0201020 医療機関で処方せんをもらい、内容を確認する) (←0202050 症状を説明し、薬を求める)	・症状を説明し、薬剤師等の質問に答える	ロールプレイ	地域住民、母語が同じ外国人	処方箋
	・薬の服用法を理解する (←0202050 症状を説明し、薬を求める) (←0203070 薬剤師等の「効能、用法、注意」の説明を理解する)	・薬の効能や用法の表現を理解し、聞き取ったり読み取ったりする	ロールプレイ、スキミング	地域住民、母語が同じ外国人	薬（実物等）
2 災害に対応する	・災害時の避難場所や避難方法を確認する (←0501020 自治体広報、掲示、看板等を理解し、現地を確認する) (←0501030 避難場所・方法を理解する・人に聞く)	・広報や掲示板等の説明を読み取る ・質問の仕方について練習し、実際に聞いてみる	スキミング、ロールプレイ	地域住民、行政関係者	広報等
	・地震発生時に適切に行動する (←0502010 地震について理解する) (←0502020 身を守る(地震発生時))	・地震の前に準備しておくことや地震発生時の行動について、自宅・学校・職場等で話し合う	実体験（起震車）、シミュレーション（防災訓練）、インタビュー・アンケート	消防署員	多言語生活情報
	・新聞やラジオ・テレビの気象情報を理解する (←0503010 台風について理解する) (←0503020 天気予報・台風情報に留意し理解する)	・気象情報を読み取ったり、聞き取ったりする	スキミング、スキミング	地域住民	気象情報
	・火災等の発生時に緊急通報する (←0504050 消防・救急(119番)や警察(110番)に電話する(火災等))	・通報の仕方について練習し、関係機関の協力の下、実際にやってみる	ロールプレイ、シミュレーション	消防・警察署員	火災場面の写真等

27ページ
参照

28ページ
参照

※()内は標準的なカリキュラム案における生活上の行為の事例(7桁の数字は標準的なカリキュラム案14～98ページの「事例2(下位項目)」の数字に対応)。

＜教室活動の展開例＞

(1) 医師の診察を受ける

教室活動の内容	サポート情報等
<u>1) 体の部位の名称, 症状を表わす表現を確認する</u> ・身体図を用いて, 体の部位の名称を理解する。 ・症状を表わす表現の日本語と母語の対照表を用いて, 日本語での言い方を確認する。 <u>2) 医師が発する指示の表現を理解する</u> ・病名と対処の表現の日本語と母語の対照表を用いて, 日本語での言い方を確認する。 ・指導者が医師役となり, 医師が発する指示の主なものを例示する。 <u>3) 医師の診察を受ける</u> ・指導者や日本人協力者に症状を伝え, 診察を受ける練習をする。また, 学習者同士でロールプレイを行う。 【キーフレーズ】 Bさん: 「のどが痛いんですが。」 医 師: 「口を大きく開けてください。」 「風邪ですね。しっかりと栄養を取って, ゆっくり休んでください。」 ※キーフレーズは生活上の行為の場面で行われるやり取りから中心的な要素を取り上げて作成した例です。暗記ではなく, キーフレーズを参考に教室活動を応用・発展させてください。	＜参考資料＞ ・多言語医療問診票 (※入手方法等は「標準的なカリキュラム案」の113ページ参照) ＜参考資料＞ ・多言語医療問診票 (※入手方法等は「標準的なカリキュラム案」の113ページ参照) ＜活動方法＞ ・ロールプレイ (※「標準的なカリキュラム案」110ページ及び本書44ページ参照) ・出身地(国)で風邪を引いたときの対処法について話し合ってもよい。

<教室活動の展開例>

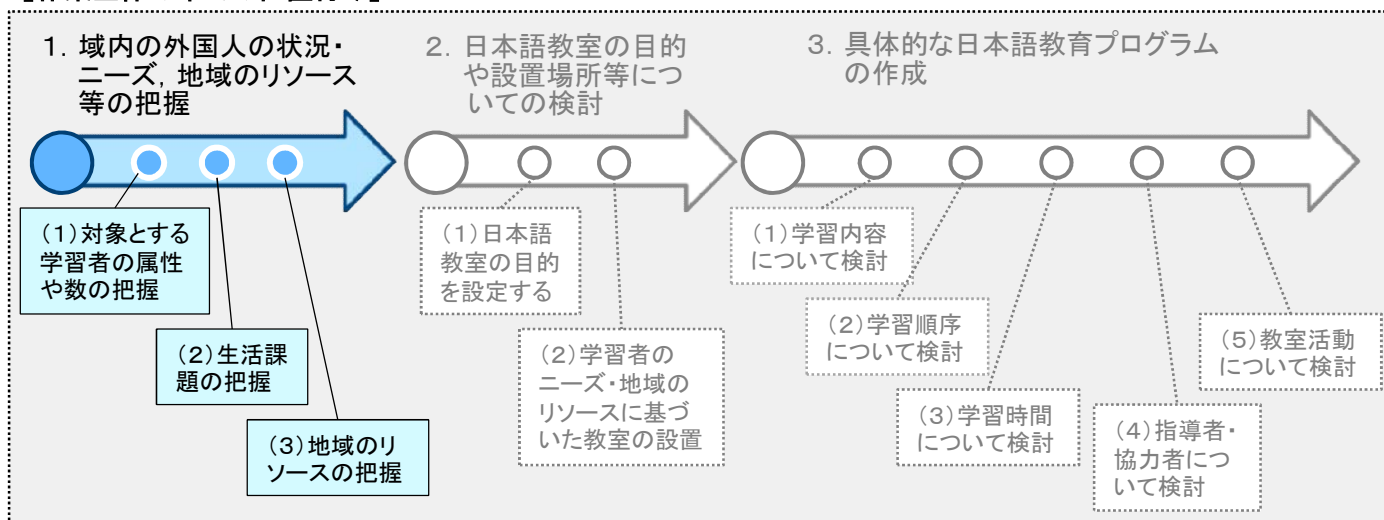
(2) 調剤薬局を利用し, 服用法を理解する

教室活動の内容	サポート情報等
<u>1) 薬の種類や飲み方について理解する</u> ・粉薬, 錠剤など薬の実物や絵を用いて, 日本語での言い方を確認する。 ・食前・食後・食間, 一日何回など, 飲み方の指示や表記を理解する。 <u>2) 医師から薬の説明を受ける</u> ・指導者が医師役となり, 医師の薬についての説明を理解する。 ・受付で処方箋をもらい, 処方箋を扱う薬局の場所を確認する。 <u>3) 処方箋を提示し, 薬局で薬を購入する</u> ・薬局で処方箋を提示して, 薬を受け取る。 ・初めての場合は調査票に記入する。 ・指導者や日本人協力者と練習をする。学習者同士でもロールプレイを行う。 【キーフレーズ】 Bさん: 「すみません, お願いします。」 薬局の店員: 「はい。この番号が呼ばれるまでお待ちください。」 薬剤師: 「1 2 5 番のカードでお待ちの方。」 Bさん: 「はい。」 薬剤師: 「こちらの粉薬は, 1 日 2 回朝, 晩, 食後に飲んでください。こちらの錠剤は, 1 日 3 回毎食後に飲んでください。」 ※キーフレーズは生活上の行為の場面で行われるやり取りから中心的な要素を取り上げて作成した例です。暗記ではなく, キーフレーズを参考に教室活動を応用・発展させてください。	・出身国の場合の薬の購入法について話し合ってもよい。 <活動方法> ・ロールプレイ (※「標準的なカリキュラム案」110ページ及び本書44ページ参照) ・調査票のサンプルを使う。 <活動方法> ・ロールプレイ (※「標準的なカリキュラム案」110ページ及び本書44ページ参照) ・実体験 (※「標準的なカリキュラム案」111ページ及び本書38ページ参照) ・薬局に行って薬を購入する練習をしたり, 実際に体験したりするのもよいでしょう。

例3) 技能実習生のCさんの場合

1. 域内の外国人の状況・ニーズ、地域のリソース等の把握

【作業全体の中での位置付け】



【作業の内容の例】

(1) 対象とする学習者の属性や数の把握

・レディネス(日本語学習をどの程度行っているか)

⇒来日前・来日後にそれぞれ160時間程度、日本語を学習。その後は不定期に自社社員を教師とした日本語教室で学習。

・漢字圏かどうか

⇒非漢字圏

・学習適性(過去の言語学習経験等)

⇒日本語(3か月程度)

・家族形態

⇒単身で来日

・在留資格

⇒技能実習

・定住志向

⇒3年滞在の予定

(2) 生活課題の把握

○日常生活(使用言語と使用場面、日本語でのやり取りが求められる場面、日本語学習に割ける時間)

⇒実習の現場で使用する日本語は挨拶と業務に関する内容中心。また、作業そのものは日本語を必要としないことが多く、日本語を使用する機会が限られている。

○生活面で課題として抱えていること

生活課題の優先度	生活課題の内容(できるようになりたいこと)
1) 今すぐできなくて困ること	実習現場の人と日本語で話す
2) その他、今できるようにしたいこと	日本語で人間関係を作る
3) 今後できるようにしたいこと	信頼できる相手に質問する
4) いつかはできるようにしたいこと	情報を収集・発信する

(3) 地域のリソースの把握

・教室に使える場所

⇒地域の国際交流協会

・指導者

⇒地域在住の日本語教育経験者

・協力者の有無

⇒地域住民、実習現場の人

・協力機関の有無

⇒実習実施機関

・多言語での情報の有無

⇒市役所や国際交流協会作成の多言語情報

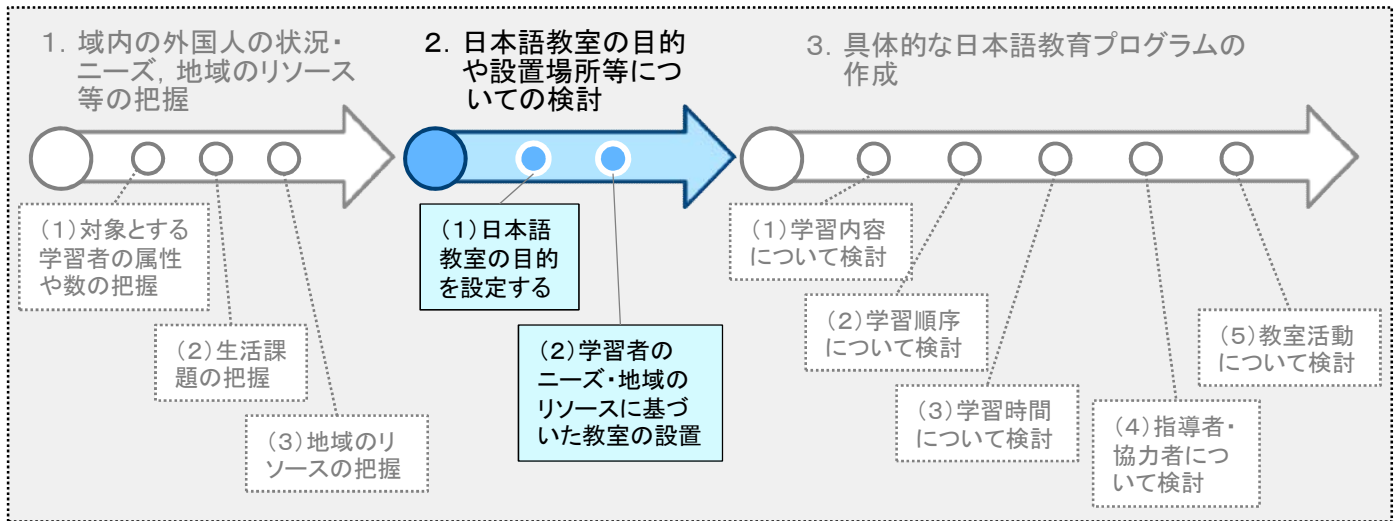
・通訳が配置されている場面

⇒管理団体に通訳が配置されており、必要に応じて実習現場に派遣される

技能実習生Cさん 地域の状況

2. 日本語教室の目的や設置場所等についての検討

【作業全体の中での位置付け】



【作業の内容の例】

(1) 日本語教室の目的を設定する

○漠然とした学習者像ではなく、域内の外国人の状況を踏まえた上で「具体的な学習者像」を設定し、そこから生活課題の改善に向けた教室の目的を設定する。

○外国人の社会参加、エンパワメントにつながる目標設定を行う。

⇒指導員や実習現場の人、地域住民と日本語で人間関係の構築ができ、社会との接点を広げていくことができるようになる。

(2) 学習者のニーズ・地域のリソースに基づいた教室の設置

①地域課題、域内の外国人の状況に対応した日本語教室の設置（場所、日時等）

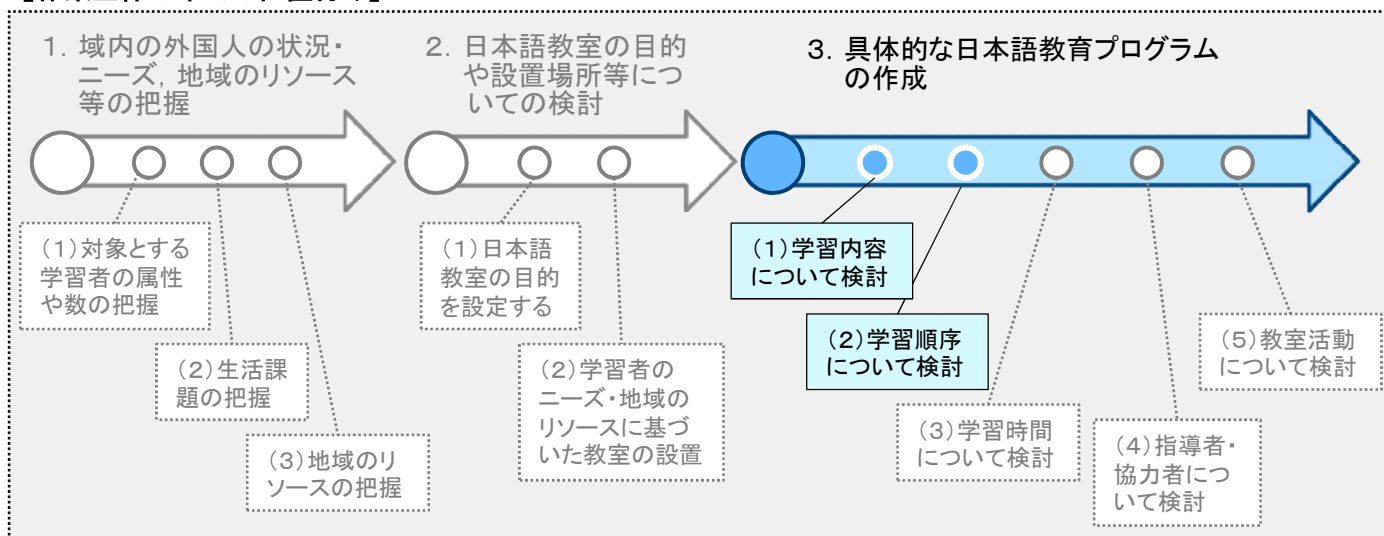
⇒平日昼間に実習していることを踏まえ、平日の夜間あるいは土日の午前中に地域の国際交流協会で開催

②行政・関係機関との連絡調整

⇒地域の生活情報の提供、地元の日本語学校に勤務する日本語教師の協力、監理団体の通訳の協力

3. 具体的な日本語教育プログラムの作成(1)～(2)

【作業全体の中での位置付け】



※「(3)学習時間について検討」、「(4)指導者・協力者について検討」、「(5)教室活動について検討」の作業の内容の例については34ページ参照。

【作業の内容の例】

(1) 学習内容について検討

① 学習者Cさんの生活課題の中から、優先度が高いものを選択する。

生活課題の優先度	生活課題の内容(できるようになりたいこと)
1) 今すぐできないと困ること	実習現場の人と日本語で話す
2) その他、今できるようにになりたいこと	日本語で人間関係を作る
3) 今後できるようにになりたいこと	信頼できる相手に質問する
4) いつかはできるようにになりたいこと	情報を収集・発信する

② 生活課題の内容(できるようになりたいこと)に該当する生活上の行為「人とかかわる」「情報を収集・発信する」を標準的なカリキュラム案から選択する。

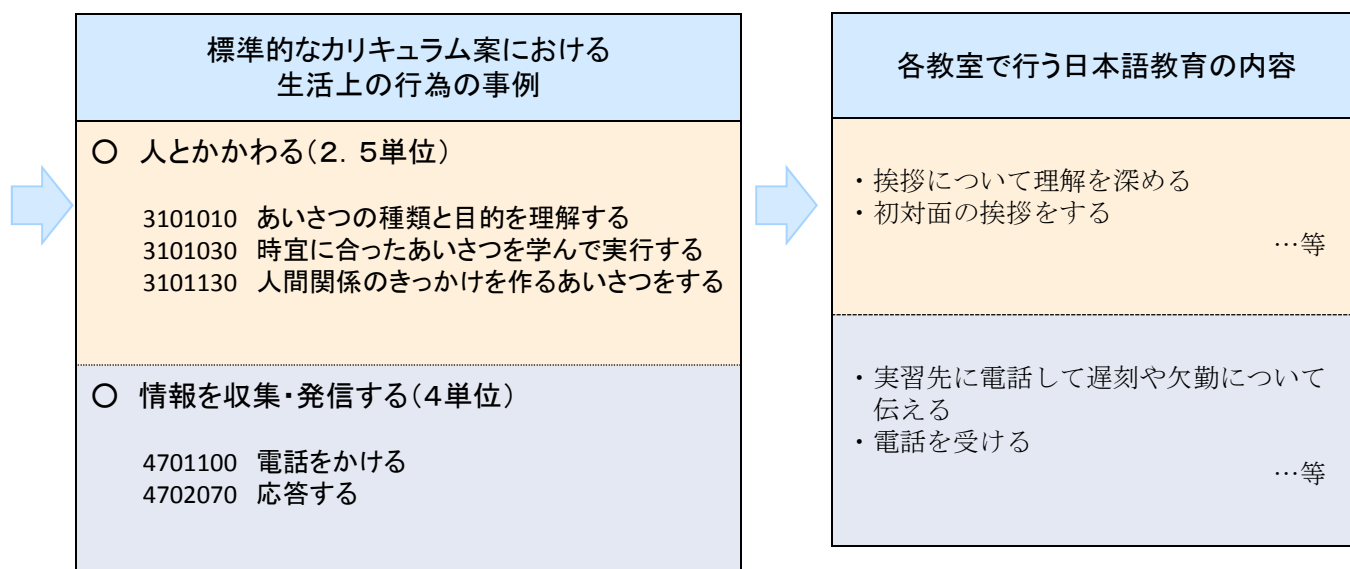
標準的なカリキュラム案で扱う生活上の行為 (全30単位)
○ 健康・安全に暮らす(7単位)
○ 住居を確保する・維持する(2単位)
○ 消費活動を行う(4. 5単位)
○ 目的地に移動する(3. 5単位)
○ 人とかかわる(2. 5単位)
○ 社会の一員となる(4. 5単位)
○ 自身を豊かにする(2単位)
○ 情報を収集・発信する(4単位)

※生活上の行為の一覧については本書54～55ページ参照。
なお、単位数については標準的なカリキュラム案12～13ページ参照。

③「人とのかかわる」「情報を収集・発信する」の具体例である生活上の行為の事例の中から、より生活課題に近いものを選び出す。

(※下の表は選択後の事例を例示。7桁の数字は標準的なカリキュラム案14～98ページの「事例2(下位項目)」の数字に対応。)

④地域の実情・学習者Cさんの日本語のレベルに合わせて事例に工夫を加える。



(2) 学習順序について検討

○学習者の生活課題の優先度に合わせて学習順序を合わせる。

○具体的には、「4. 1 域内の外国人の状況・ニーズ, 地域のリソース等の把握」の「(2)生活課題の把握」の「1)今すぐできないと困ること」, 「2)その他, 今できるようになりたいこと」の順に設定する。

3. 具体的な日本語教育プログラムの作成(3)～(5)

学習時間、指導者・協力者、行動・体験中心の活動、教材等について検討し、プログラムを作成します。ここではプログラムの作成例を示します。

◆教室の目的：人間関係の構築ができるようになる（Ⅶ 人と付き合う ※本書54～55ページ参照）

◆指導者：地域在住の日本語教育経験者

◆教室の場所：地域の国際交流協会

◆日時：土曜日、10時～12時

	言語事項／社会・文化的情報の選択と工夫	目標達成のための活動	活動方法	協力者	教材
1 人間関係の構築ができるようになる	・挨拶について理解を深める (←3101010 あいさつの種類と目的を理解する)	・挨拶の種類と目的について考える ・母国や外国と日本の挨拶を比べる	ロールプレイ	地域住民	挨拶場面の写真、イラスト、手紙
	・年賀状や暑中見舞いのやり取りをする (←3101030 時宜に合ったあいさつを学んで実行する)	・年賀状（暑中見舞い）の習慣や書き方を学び、実際に書く	実体験	知り合いや地域の住民	年賀葉書（暑中見舞い葉書）、写真、実物
	・相手に合わせた挨拶をする (←3101060 相手に合わせたあいさつをする)	・場面や相手をいろいろ設定し、ふさわしい挨拶の仕方を練習する	ロールプレイ	地域住民	映画などの映像
	・起きてから寝るまでの挨拶を知る (←3101080 日常のあいさつをする)	・学習者の一日の流れを追って、適切な挨拶ができるよう練習する ・応じ方を練習をする	ロールプレイ	地域住民	生活上の行為の場面を扱った写真等
	・初対面の挨拶をする (←3101130 人間関係のきっかけを作るあいさつをする)	・初対面の挨拶の練習をする ・地域住民との交流会をし、体験する	実体験	地域住民	町内会の案内など
	・公的な自己紹介を行う (←3102050 仕事上の公的な自己紹介をする)	・自己紹介が丁寧体でできるように練習する ・名刺交換をする	ロールプレイ、ショーアンドテル	実習現場の人	実習現場の写真や名刺等
	・私的な自己紹介を行う (←3102070 私的な場面で自己紹介をする)	・人が集まった場で簡単な自己紹介ができるように練習する	プレゼンテーション	地域住民・学生	写真や名刺等
	・冠婚葬祭のマナーについて相談する (←3103150 分からないとき、疑問に思ったときに信頼できる相手に質問する(日本の一般的なマナー等について))	・題材を提示し、対応を考える ・質問の仕方を知る ・実際に質問して回答を理解する	話し合い、実体験、ロールプレイ	実習現場の人、支援者	招待状、冠婚葬祭の写真、祝儀袋等
2 情報を収集発信する	・実習先に電話して遅刻や欠勤について伝える。 (←4701100 電話をかける)	・遅刻や欠勤のいろいろな状況を想定し、きちんと用件が伝えられるようにする	ロールプレイ	実習現場の人、支援者	状況を表す絵
	・電話を受ける (←4702070 応答する)	・電話を受ける際の定型表現を練習し、実際に電話応答の体験をする	ロールプレイ、実体験	実習現場の人、支援者	状況を表す絵

35ページ
参照

※()内は標準的なカリキュラム案における生活上の行為の事例(7桁の数字は標準的なカリキュラム案14～98ページの「事例2(下位項目)」の数字に対応)。

＜教室活動の展開例＞

（１）初対面の挨拶をする

教室活動の内容	サポート情報等
<u>1) 人間関係を作るきっかけとなる挨拶などについてのVTRを見る</u> ・初対面の挨拶，日常的に交わされる挨拶の言葉（天候を問う，行き先を問う），電話の受け答え等。 ⇒VTRがない場合は協力者により実演を行う。 <u>2) 人間関係を作る上での文化的な違いを準備された資料等から理解する</u> ・母語で書かれた資料等の内容について，指導者から説明を受けたり，クラスメートと話し合ったりする。 <u>3) 様々な挨拶の場面を体験する</u> ・挨拶や電話の場面を教室内で練習する。可能であれば，実際の場面で使ってみる。 【キーフレーズ】 Cさん：「はじめまして。〇〇（名前）です。」 近所の人：「□□（名前）です。はじめまして。どうぞよろしくお願いします。」 Cさん：「どうぞよろしくお願いします。」 近所の人：「お国はどちらですか。」 Cさん：「△△（国名）です。」 ※キーフレーズは生活上の行為の場面で行われるやり取りから中心的な要素を取り上げて作成した例です。暗記ではなく，キーフレーズを参考に教室活動を応用・発展させてください。	＜参考資料＞ ・町内会の案内 ＜活動方法＞ ・実体験 （※「標準的なカリキュラム案」111ページ及び本書38ページ参照）

「5 日本語教育プログラムの具体例」における参考資料

- ・平成19年度文化庁日本語教育研究委託 外国人に対する実践的な日本語教育の研究開発
（「生活者としての外国人」に対する日本語教育事業—報告書— 平成20年3月 社団法人日本語教育学会）
- ・平成20年度文化庁日本語教育研究委託 外国人に対する実践的な日本語教育の研究開発
（「生活者としての外国人」のための日本語教育事業—報告書— 平成21年3月 社団法人日本語教育学会）
- ・「生活のための日本語」に関する基盤的研究—段階的発達の支援をめざして 中間報告書—
（平成20年度～23年度科学研究費補助金（基盤研究（B））研究成果報告書 中間報告）
（平成22年3月 研究代表者金田智子（人間文化研究機構 国立国語研究所））
- ・「外国人研修生・技能実習生の日本語調査」第一次調査 速報 2010年3月 JITCO能力開発部援助課
- ・2006年度「外国人研修生日本語教育実態調査結果報告（調査対象：第二次受入機関）」 財団法人国際研修協力機構

6 活動方法の例の具体的内容

ここでは、生活場面に密着した活動方法の具体例を取り上げます。外国人の生活課題や地域のリソース、指導者や協力者の状況に応じて、以下のタスクやエクササイズを取り入れながら「行動・体験中心の活動」を行うことが、言語学習の進展や充実につながります。

また、以下のタスクやエクササイズを活用する際は、地域住民の協力や参加を得て、それぞれの地域において対話による相互理解の促進を図ることが必要です。

(※38～52ページの各タスク、エクササイズの「1」生活上の行為の事例と能力記述」等の7桁の数字は標準的なカリキュラム案14～98ページの「事例2(下位項目)」の数字に対応しています。)

1. タスク ～解決すべき課題を持った学習活動

	活動方法の名称	概要	
(1)	実体験	生活上の行為が行われる現場を訪問し、実際に体験する	*
(2)	施設見学	利用できる公共施設等を訪問し、サービスの内容や利用方法を知る	*
(3)	シミュレーション	生活上の行為を疑似的に体験し、課題や問題を知る	*
(4)	プロジェクトワーク	共同作業によって、催しなどを実際に企画、実行する	
(5)	インタビュー・アンケート	地域の人々を対象に面接や質問紙調査を行う	
(6)	プレゼンテーション	視聴覚資料を使って説明する	
(7)	ロールプレイ	実生活のコミュニケーションを、役割を設定して演技してみる	*
(8)	ランキング	課題の解決方法等に優先順位を付け、その根拠や実現可能性について話し合う	*
(9)	フォトランゲージ	実際の生活場面の写真を見て、そこで展開される行動について話し合う	*
(10)	ディベート	対立的な意見や物の見方を設定し、それぞれの立場に立って互いに良否を議論する	

2. エクササイズ ～言語的な技能を向上させるための練習

	活動方法の名称	概要	
(1)	シャドーイング	母語話者の音声を聞こえたそばからそっくりまねて発話する	
(2)	ジグソー練習	二人で、持っている情報を協力して組み合わせ、結果を出す	
(3)	ショーアンドテル	一人がグループに対して実物を見せながら説明する	
(4)	スキミング	文章全体に目を通して大意をつかみ取りながら読む	
(5)	スキヤニング	特定の情報を得るために、情報のある個所を探して拾いながら読む	

* ...「『生活者としての外国人』に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案について」の「教室活動の方法の例(110～112ページ)」で取り上げたもの

1. タスク ～解決すべき課題を持った学習活動

(1)実体験 ～生活上の行為が行われる現場を訪問し、実際に体験する			
1)生活上の行為の事例と能力記述	- 実際に体験することが可能な生活上の行為の事例 <u>1004060 運賃を支払う・切符を購入する</u> 【能力記述】・券売機の使い方が分かる ・券売機の文字が読める ・券売機の使い方を聞くことができる <u>1204040 目的地までの道を探す</u> 【能力記述】・人を呼び止めることができる ・目的地を説明することができる ・説明内容を聞いて理解することができる …等		
2)教室活動の展開(概要)	・電車やバスを利用し、道を探すながら、目的地まで移動する。		
3)目的	・電車やバスの乗り方を実際に体験し、理解する。 ・目的地までの道を探す、自力で到達する。		
4)準備	【指導者】 ・コースシート ・電車やバスの路線図、写真パネル等	【学習者】	【協力者】
5)活動の流れ	【指導者】 【学習者】 【協力者】 ①コースシートの読解 ・いつ、どこからどこまで、どうやって行くか、シートを読み取る。 ②交通事情の理解 ・券売機の利用方法、路線図の見方、列車の種別や行き先、バスの乗車方法（整理券・運賃表示・降車ボタン等）を写真パネル等で学ぶ。 ③道を探す会話練習 ・「～、何番線ですか」「～、行きますか」「～、どこですか」という問い掛けや、それに対する答えの聞き取りを練習する。 ④実体験の実施 ・電車やバスを利用し、道を探すながら、目的地まで実際に移動する。 ⑤フィードバック ・うまくできなかった点、よく分からなかった点などを振り返る。		
6)留意事項	・生活上の行為の事例のうち、事情を理解する必要のあるものについて応用可能。 ・何らかの一連の教室活動の「導入」または「まとめ（最終目標）」として応用可能。		

(2)施設見学 ～利用できる公共施設等を訪問し、サービスの内容や利用方法を知る			
1)生活上の行為の事例と能力記述	・利用可能であり、かつ協力が得られる施設と関連する生活上の行為の事例 <u>3301080 役所の受付で外国人登録窓口の場所を尋ねる</u> 【能力記述】・「外国人登録」の表示を理解することができる ・外国人登録の窓口の場所を聞くことができる ・場所の説明を理解することができる <u>4403030 利用方法を尋ねる(図書館, スポーツセンター等)</u> 【能力記述】・自分の希望を伝えることができる ・説明の内容を理解することができる ・提示された書類等を読んで理解することができる …等		
2)教室活動の展開(概要)	・実際に市役所を訪れて、窓口の場所を尋ねる。 ・それぞれの窓口の役割（市役所でできること、できないこと）を知る。		
3)目的	・市役所で何ができるか（どのような窓口があるか）を知り、今後の生活に役立てる。		
4)準備	【指導者】 ・ワークシート	【学習者】	【協力者】 ・学習者の訪問について、事前に了解を取る ・窓口での対応
5)活動の流れ	【指導者】 <u>①市役所事情を理解する</u> ・母国及び日本における市役所の役割（あるいは市役所のイメージ）を知る。 <u>②必要に応じて会話練習</u> ・市役所の部署名等を尋ねる表現について練習する。 例：「すみません、～どこですか」 <u>③施設見学</u> ・ワークシート（市役所でできることに○、できないことに×を付けるチェックシート形式のもの等）を配布。 ・引率（または自力）で市役所の窓口を回って行く。 <u>④フィードバック</u> ・ワークシートの答え合わせを行い、感想などを尋ねる。	【学習者】	【協力者】
6)留意事項	・生活上の行為の事例のうち、事情を理解する必要のあるものについて応用可能。 ・協力が得られるようであれば、公共施設だけでなく、商業施設等（スーパー等）にも応用可能である。		

(3)シミュレーション ～生活上の行為を疑似的に体験し、課題や問題を知る			
1)生活上の行為の事例と能力記述	・実際に体験することが困難な生活上の行為の事例 <u>0404020 救急車を要請する</u> 【能力記述】・交通事故の発生場所と状況を伝えることができる ・自分の名前と電話番号を伝えることができる <u>0502020 身を守る</u> 【能力記述】・身の守り方について説明を読んで理解できる ・身の守り方について人に質問して理解できる <u>0504050 消防・救急(119番)や警察(110番)に電話する</u> 【能力記述】・消防・救急(119番)に電話を掛けることができる ・火事の発生場所と状況を伝えることができる ・自分の名前と電話番号を伝えることができる …等		
2)教室活動の展開(概要)	・災害について概要を学ぶ。地震や火事の疑似体験、消火訓練等を通して防災意識を高める。振り返りを行い、緊急時に必要な行動と日本語表現を習得する。		
3)目的	・防災意識を高め、緊急時に適切に対応できるようになる。		
4)準備	【指導者】 ・災害時の写真や映像 ・防災グッズ ・防災に関するパンフレット等	【学習者】	【協力者】 ・見学先施設との事前協議 ・説明の依頼 ・必要に応じて通訳の依頼
5)活動の流れ	【指導者】	【学習者】	【協力者】
	<u>①ウォーミングアップ</u> ・今ここで地震が来たらどうするかについて話し合う。		
	<u>②地震についての概要を知る</u> ・地震をはじめとする日本の災害について写真や映像を見ながら概要を知り、基本語彙と表現を学ぶ。		
	<u>③施設見学 地震の揺れを体験</u> ・地域の防災施設等を見学し、専門家の説明を聞き、地震の揺れを体感する。火災への対応を学ぶ。		
	<u>④防災対策について学ぶ(振り返り1)</u> ・パンフレットを読む。防災グッズを手にとって確認する。		
	<u>⑤防災対策について学ぶ(振り返り2)</u> ・日頃の防災対策として、近隣の防災組織や避難場所の確認と日常における人付き合いの必要性について話し合う。		
6)留意事項	・生活上の行為の事例のうち、疑似体験が有効なものについて応用可能。 ・パンフレットを読む学習は教室活動の方法のうち、スキミングが活用できる。		

(4)プロジェクトワーク ～共同作業によって、催しなどを実際に企画、実行する			
1)生活上の行為の事例と能力記述	・調査や企画が可能なテーマに関係する生活上の行為の事例 <u>0801020 必要な品物を扱う店等を探す</u> 【能力記述】・友人や知人に店の場所を聞くことができる ・友人や知人にどんな店か聞くことができる <u>1204040 目的地までの道を尋ねる</u> 【能力記述】・人を呼び止めることができる ・目的地を説明することができる ・説明内容を聞いて理解することができる <u>1201030 住所表示、交差点名、街の案内地図などを読む</u> 【能力記述】・地名などの漢字の読み方を質問できる ・地名などの漢字を読むことができる ・案内地図によく使われる記号を理解することができる …等		
2)教室活動の展開(概要)	・実際に町を歩いて地域の地理や店などを調べる。 ・調べたことをまとめて、発表し、対話中心の活動をする。		
3)目的	・自分たちで地域のタウンマップを作る。 ・教室外にも多くの学習素材があることに気付く。		
4)準備	【指導者】 ・地域の地図 ・地域の学校、店舗等のパンフレット ・タウンマップ作成用の紙等	【学習者】 ・取材用のカメラ等	【協力者】 ・発表を聞いてもらう
5)活動の流れ	【指導者】 【学習者】 【協力者】 <u>①ウォーミングアップ</u> ・周辺地域について知っている情報を出し合う。特に日常生活に必要とされる情報を出し合う。 ・簡単な地図を描き、情報のあやふやな点を自覚し、町で実際に調べることへの動機付けをする。 <u>②町取材</u> ・実際に町を歩きながら、発見したことをメモする。分からないことは指導者に聞いたり調べたりする。 <u>③情報のまとめ</u> ・調べてきたことを基に、協力し合ってタウンマップ（成果物）を作成する。 <u>④発表</u> ・タウンマップを基に自分たちの取材成果を発表する。質疑応答を通して協力者と対話交流活動を行う。		
6)留意事項	・生活上の行為の事例のうち情報の収集が必要なものについて応用可能。		

(5)インタビュー・アンケート ～地域の人々を対象に面接や質問紙調査を行う			
1)生活上の行為の事例と能力記述	・地域住民に質問等を行い、生活情報を獲得する生活上の行為の事例 4401070 適当な人からアドバイスをもらう 【能力記述】 ・外出や余暇の計画について人に相談できる ・行きたいこと、したいことの希望を述べられる ・分からない点について質問できる 4401040 インターネットで情報検索して可能な方法を選択する 【能力記述】 ・インターネットで必要な情報にアクセスできる ・ホームページの大切な情報が理解できる ・学習支援ツールが使える …等		
2)教室活動の展開(概要)	・余暇を過ごす場所について周りの人に尋ね、情報を得る。 ・得た情報についてインターネットなどで詳しく調べる。 ・インターネットの活用方法について支援者に聞く。 ・調べた情報を基に旅行計画を立て、参加者を募る。		
3)目的	・旅行計画を立てて、友達や支援者を誘う。		
4)準備	【指導者】 ・旅行パンフレット ・観光地の写真，路線図，時刻表等 ・インタビューシート ・インターネット環境	【学習者】 ・旅行の写真	【協力者】 ・インタビュー相手に協力依頼をして了解を得ておく
5)活動の流れ	【指導者】 ①活動概要の説明 ・休みの日にすること，これまでに行った旅行の話などをした上で，みんなで旅行計画を立てること，情報収集のためのアンケート（またはインタビュー）をすることを提案する。 ②インタビューシートの作成・実施 ・インタビューシートを作成する。分かりやすい質問項目を考え，インタビュー時の質問の仕方などを練習する。 ③行き先選定 ・アンケート（またはインタビュー）結果を基に，話し合っ行き先を選定する。 ④旅行プラン作成 ・みんなが行きたくなるような旅行企画書を作る。パンフレットやインターネットで経路や費用を調べる。 ⑤説明と勧誘 ・協力者やほかの学習者グループに，自分たちの旅行計画を説明し，参加者を募集する。説明や勧誘の言い方を練習する。（※計画は仮でも真実でもよい。）		
6)留意事項	・生活上の行為の事例のうち，情報の収集が必要なものについて応用可能。		

(6)プレゼンテーション ～視聴覚資料を使って説明する			
1)生活上の行為の事例と能力記述	・人と関わり，他者との関係を円滑にするための生活上の行為の事例 3102050 仕事上の公的な自己紹介をする 【能力記述】 ・あいさつの種類を選択できる ・敬語・丁寧体を適切に使用できる ・相手の立場に合わせた表現ができる 3102070 私的な場面で自己紹介をする 【能力記述】 ・あいさつの種類を選択できる ・場面に応じた表現を選択することができる …等		
2)教室活動の展開(概要)	・自己紹介の仕方を学び，教室でみんなの前で発表する。		
3)目的	・初対面の複数の人の前で簡単な自己紹介ができるようになる。		
4)準備	【指導者】	【学習者】	【協力者】 ・発表を聞きに来てもらい，交流活動に参加
5)活動の流れ	【指導者】	【学習者】	【協力者】
①モデル提示 ・指導者自身が簡単な自己紹介をしてモデルを示す。			
②基本練習 ・自己紹介の定型表現を学んで，練習する。 「はじめまして，〇〇（自分の名前）です。どうぞよろしくお願いします」等。			
③内容の工夫 ・出身地・出身国，名前の意味，仕事，家族構成，趣味など発表の場にふさわしいものを適宜選び，自己紹介の内容を膨らませる。			
④プレゼンテーション練習 ・身振り，姿勢，表情などを伴った練習をする。			
⑤皆の前で発表する ・協力者等のお客様を招き，自国紹介の発表会を開く。質疑応答，協力者にも自己紹介をしてもらうなどして，対話交流を行う。			
6)留意事項	・以下の生活上の行為でもほぼ同様の教室活動の展開が可能。 3102010 自己紹介の仕方を理解する 3102020 相手や状況に応じた自己紹介の仕方を理解する ・生活上の行為の事例のうち，自身のアイデアや考えを発表するものについても応用可能。 3201040 自分の文化を説明する 3202090 自国の習慣について説明する …等 ・学習者の自己表現能力を高めることができるだけでなく，指導者，協力者の間で学習者の背景や考えについて理解を深めることができる。		

(7) ロールプレイ ～実生活のコミュニケーションを役割を設定して演技してみる			
1) 生活上の行為の事例と能力記述	やり取りにパターンが見られる生活上の行為の事例 <u>0103010 医者診察を受ける</u> 【能力記述】・症状を伝えることができる ・医者診察、指示が理解できる <u>0802040 電話で予約する</u> 【能力記述】・一定の条件を示して予約の可・不可について質問することができる ・予約の可・不可についての情報を理解することができる …等		
2) 教室活動の展開(概要)	飲食店に電話で注文する。		
3) 目的	電話での注文を疑似的に体験し、生活上の行為を行えるようになる。		
4) 準備	【指導者】 - 電話機 - 店に事前に連絡を入れ、協力を依頼する。	【学習者】	【協力者】
5) 活動の流れ	【指導者】	【学習者】	【協力者】
	<u>①導入・動機付け</u> - 母国や日本での電話注文についての個人的経験や、各国の電話注文事情を尋ねる。 - 電話で注文したいものを決める。		
	<u>②語彙・表現の確認</u> 必要な語彙表現を確認する。		
	<u>③ロールプレイ</u> 指導者が店員役、学習者が客役となり、電話での会話を練習する。		
	<u>④実体験</u> 学習者（のうちの代表者）が、実際に電話で注文してみる。		
	<u>⑤フィードバック</u> うまくできなかった点、よく分からなかった点などを振り返る。		
6) 留意事項	生活上の行為の事例のうち、広範な会話場面について応用可能。		

(8)ランキング ～課題の解決方法等に優先順位を付け、根拠や実現可能性について話し合う			
1)生活上の行為の事例と能力記述	多様な選択肢がある生活上の行為の事例 <u>0601090 居住する地域を選択する</u> 【能力記述】・不動産の情報を読んで理解できる ・友人や知人から必要な情報を得ることができる <u>4401070 適当な人からアドバイスをもらう</u> 【能力記述】・外出や余暇の計画について人に相談できる ・行きたいこと、したいことの希望を述べられる ・分からない点について質問できる ・パンフレットなどを読んで理解できる …等		
2)教室活動の展開(概要)	余暇の過ごし方について周りの人に尋ね、どの人の過ごし方が魅力的か考える。		
3)目的	周りの人に余暇の過ごし方（またはその願望）を尋ね、日本や母国における余暇事情や各自の休暇観を理解する。		
4)準備	【指導者】	【学習者】 母国での余暇の過ごし方（写真など）	【協力者】 余暇の過ごし方（現実または仮想の計画、具体的な写真など）
5)活動の流れ	【指導者】	【学習者】	【協力者】
①導入 - 母国における余暇の過ごし方を紹介する。 - 日本における余暇の過ごし方にはどのようなものがあるか、想像する。 ②インタビューの準備 - 質問表現を練習する。 ③インタビュー - 直近の連休に何をしたか、何をするか（あるいは、したいか）を詳しく尋ねる。 ④インタビューのまとめ - インタビューで聞いたことを発表し、情報を共有する。 - 誰と一緒に過ごしたいか（誰の休暇がいいか）ランキングを実施し、それぞれの休暇に対する考え方について振り返る。			
6)留意事項	- 生活上の行為の事例のうち、多様な選択肢があるものについて応用可能。 - 学習者・協力者の背景が多様である場合に、面白い活動になることが多い。		

(9) フォトランゲージ ～実際の生活場面の写真を見て、そこで展開する行動について話し合う			
1) 生活上の行為の事例と能力記述	異文化理解を伴う生活上の行為の事例 3102070 私的な場面で自己紹介をする 【能力記述】・あいさつの種類を選択できる ・場面に応じた表現を選択することができる 3402030 マナーについて人に相談する 【能力記述】・「ポイ捨て禁止」などの意味を理解できる ・公共マナーの各種について質問して理解できる ・公共マナーの掲示等を読んで理解できる …等		
2) 教室活動の展開(概要)	- 写真を用いて自己紹介を行う。 - 相手の写真を見て、会話を展開していく。		
3) 目的	写真を用いて、会話を展開していく。		
4) 準備	【指導者】 ・出身地/家族/旅行/趣味/仕事などを撮影した写真	【学習者】 ・出身地/家族/旅行/趣味/仕事などを撮影した写真	【協力者】 ・出身地/家族/旅行/趣味/仕事などを撮影した写真
5) 活動の流れ	【指導者】 ①基本的な語彙表現の確認 ・「いつですか」「どこですか」「誰ですか」など疑問詞を含む表現や、親族語彙などを確認する。 ②写真を見ながら、会話を展開する練習 ・学習者の写真を見て、指導者はいろいろと質問する。 ・指導者の写真を見て、学習者はいろいろと質問する。 ③初対面表現の練習 ・「はじめまして。〇〇です。どうぞよろしくお願いします。」 ④協力者との交流活動 ・写真を用いながらの初対面会話を、学習者と協力者の間（1対1）で実施する。 ⑤フィードバック ・学習者と協力者の双方に対し、うまく交流できた点やできなかった点を振り返る。		
6) 留意事項	- 生活上の行為の事例のうち、異文化理解を伴うものについて応用可能。 - 学習者と交流者の双方で写真を用意しておくと、相互理解に資することが期待できる。		

(10)ディベート ～対立的な意見や物の見方を設定し、それぞれの立場に立って互いに良否を議論する			
1)生活上の行為の事例と能力記述	多様なものの見方・価値観へと話が広がり得る生活上の行為の事例 <u>0803100 コンビニエンスストアのサービス(ATM, ファックス, 公共料金の支払い等)を利用する</u> 【能力記述】・情報提示を求めることができる ・追加情報を求めることができる <u>4401010 余暇を過ごす場所や利用方法を知る</u> 【能力記述】 (社会・文化的情報のため能力記述はなし) …等		
2)教室活動の展開(概要)	「コンビニエンスストアは本当に必要か」「余暇の過ごし方は日本と〇〇とどちらがよいか」などテーマを設定し、それに基づくディベートを行い、日本社会や考え方への理解を深める。		
3)目的	パターン化されたやり取りの学習ではなく、その地域や日本社会のものの見方や考え方に関する理解を深める。		
4)準備	【指導者】 - コンビニエンスストアの写真 - コンビニエンスストアで受けられるサービスを示したパンフレットやホームページの資料等	【学習者】	【協力者】 ディベートへの参加 (チームの一員として参加)
5)活動の流れ	【指導者】		
	【学習者】		
	【協力者】		
	①導入 - 学習者の出身地にコンビニエンスストアがあるかどうか、どのようなサービスを行っているか質問し、共有する。 - 日本でコンビニエンスストアをどの程度利用するか、どのようなサービスがあるか等について意見を出し合う。		
	②ディベートの準備 「コンビニエンスストアは本当に必要か」などディベートのテーマを設定し、「賛成／反対」でチームを作る。また、「判定者」を決める。 - それぞれのチームで意見をまとめる。		
	③ディベート 「賛成派意見⇒反対派意見⇒反対派の意見に対する賛成派の意見⇒賛成派の意見に対する反対派の意見」のように順番に意見を言う。		
	④判定・振り返り - 判定者により、賛成派・反対派のどちらの意見がより説得力があったか判定する。 - 終了後に、学習者・協力者の間で気付いたこと、新たに知ったことなどを振り返るとよい。		
6)留意事項	- ものの見方や考え方、意見が多様であると思われる生活上の行為について応用可能。 - ディベートで勝つかどうかという楽しさもあるが、準備段階でチームで意見を検討する際に、多様な考え方やものの見方に気付くことが大切である。		

2. エクササイズ ～言語的な技能を向上させるための練習

(1)シャドーイング ～母語話者の音声を聞こえたそばからそっくりまねて発音する			
1)生活上の行為の事例と能力記述	- 生活上の行為の事例は特に限定されない <u>4801080 テレビ番組を見る</u> 【能力記述】 - テレビ番組を視聴して情報を収集できる - 画面のテロップなどを読んで理解することができる - 番組表から見たい番組を探すことができる …等		
2)教室活動の展開(概要)	- テレビ番組を視聴する。 - 概要を把握した上、音声をそのまま再現する練習をする。内容を口頭で要約する。		
3)目的	テレビ番組を視聴して情報が収集できるようになる。日本語の音声に慣れる。		
4)準備	【指導者】 - テレビ番組録画 - 学習部分について文字起こし原稿	【学習者】	【協力者】
5)活動の流れ	【指導者】 ①<u>ウォーミングアップ</u> - 素材とするニュースについて、背景や予備知識について確認し、必要ならば簡単に説明する。 ②<u>番組録画を視聴する</u> - 理解の度合いを確認し、言葉の支援をして理解を助ける。 ③<u>番組の音声を再現する</u> - 番組の音声（または指導者の音声）のすぐ後を追って、音声の再現練習をする。モデルの音声をそっくりそのままねることに集中する。 ④<u>文字原稿を読む</u> - 原稿を目で追いながら、モデルの音声のすぐ後を追って音声を再現する。慣れてきたら一文全部を再現する。 ⑤<u>アナウンサーやナレーターのように読む</u> - アナウンサーやナレーターになったつもりで、聞き手を意識して原稿を読む。	【学習者】	【協力者】
6)留意事項	- 生活上の行為の事例のうち、聞いたり話したりすることを含む、全ての行為について応用可能。 - 学習者の興味と日本語レベルに応じた番組を選ぶとよい。練習に扱う部分の選択と量を加減する。		

(2)ジグソー練習 ～二人で、持っている情報を協力して組み合わせ結果を出す			
1)生活上の行為の事例と能力記述	・地域に関する情報の有無が生活上の行為のできる・できないに関わるものに特に有効 <u>0802020 店ごとに受けられるサービスと代価を理解する(飲食店等の利用)</u> 【能力記述】・店ごとに受けられるサービスと代価を理解した上で、それを利用することができる <u>0101060 隣人に容態を伝えて助言を求める</u> 【能力記述】・隣人に症状を伝えることができる ・隣人に適切な医療機関の所在を聞くことができる …等		
2)教室活動の展開(概要)	・生活上の行為に関連するテーマについて、情報を交換し合い、まとめる。		
3)目的	・参加者間（学習者、指導者、協力者）で情報を交換し合い、まとめることで地域や日本社会について知る。		
4)準備	【指導者】 ・生活上の行為に関連する情報を書き込むシート。	【学習者】	【協力者】
5)活動の流れ	【指導者】 【学習者】 【協力者】 ①導入(医療機関について) ・日本に来てからかかった病気やその時どのように対処したかを話し、教室活動の内容や、こういった情報が必要だったかを確認する。 ・病院の種類（外科、内科等）について確認する。 ②情報交換 ・病院の名前、場所、見てもらえる病気、駐車場の有無など病院に関する情報、その地域で病院を利用する際に必要となる情報を書き込むシートを渡し、まずは自分の知っている情報を書き込む。 ・学習者、指導者、協力者の間で協力し、シートを埋める。 ③成果報告 ・作成したシートについて共有する。		
6)留意事項	・情報の有無が該当する生活上の行為のできる・できないに係るものについて活用することができる。 ・学習者の生活課題の中でも特に切迫度の高いものを扱う場合には、参加者が持っている情報を共有するだけでなく、積極的にインターネット等を活用し、情報を得ることを最優先とした活動にしてもよい。		

(3)ショーアンドテル ～1人がグループに対して実物を見せながら説明する			
1)生活上の行為の事例と能力記述	・人と関わり，人間関係を築いていくための生活上の行為の事例 3102060 仕事上の公的な自己紹介をする 【能力記述】・あいさつの種類を選択できる ・敬語・丁寧体を適切に使用できる ・相手の立場に合わせた表現ができる …等		
2)教室活動の展開(概要)	・名刺交換の場面を見せ（必要であれば）自分の名刺を作成し，名刺を使った自己紹介をする。		
3)目的	・公的な場で，名刺を使った自己紹介ができる。		
4)準備	【指導者】 ・自分の名刺 ・学習者の名刺作成用材料 ・名刺交換風景の写真，イラスト	【学習者】 ・（あれば）自分の名刺	【協力者】 ・教室活動へのゲストとして参加
5)活動の流れ	【指導者】 【学習者】 【協力者】 ①ウォーミングアップ ・名刺交換風景の写真やイラスト等を見せて場面を設定する。 ・指導者同士で簡単なモデルを示す。 ②自分の名刺を作成する ・学習者の手作りのオリジナル名刺を作成する。 ③練習 ・学習者間で名刺交換の練習を行う。 ・名刺交換の際の話し方，名刺の渡し方・マナー等を学ぶ。 ④名刺交換会 ・協力者を招き，名刺交換会を行う。名刺を使って，できるだけ多くの協力者に自己紹介をし，交流活動をする。		
6)留意事項	・生活上の行為の事例のうち，ものを示しながら説明する行為について応用可能。		

(4)スキミング ～文章全体に目を通して大意をつかみ取る読み方			
1)生活上の行為の事例と能力記述	文字情報から情報を得ることが必要な生活上の行為の事例 0501030 避難場所・方法を理解する・人に聞く 【能力記述】・避難方法の注意書きを読んで理解できる ・避難方法について人に質問して理解できる 0801020 必要な品物等を扱う店等を探す 【能力記述】・友人や知人に店の場所を聞くことができる ・友人や知人にどんな店か聞くことができる ・電話帳で店を特定することができる ・新聞の広告を理解することができる …等		
2)教室活動の展開(概要)	- 回覧板の内容を読み取る。 - 回覧板の内容について、分からない点を周りの人に尋ねる。		
3)目的	回覧板の内容を把握する。		
4)準備	【指導者】 - 回覧板（実例） - 隣人に尋ねるモデル会話（ビデオ等）	【学習者】	【協力者】
5)活動の流れ	【指導者】	【学習者】	【協力者】
①自治会／町内会事情を理解する 自治会／町内会など地域の組織や活動について、母国や日本の事情を知る。			
②回覧板の読み取り(スキミング) 回覧板の実例を用いて、その内容（大意）を読み取る。			
③回覧板の内容が分からないときの対応 - 分からないときにどうするか、学習者の対応を尋ねる。 - 隣人への尋ね方を考える。			
④隣人に尋ねる会話 - モデル会話（ビデオなど）を見る。 - 表現を確認した上で、ロールプレイを実施する。			
6)留意事項	生活上の行為の事例のうち、大意の読み取りが必要なものについて応用可能。		

(5)スキニング ～特定の情報を得るために、情報のある箇所を探して拾う読み方			
1)生活上の行為の事例と能力記述	・文字情報から情報を得る必要がある生活上の行為の事例 0302010 食品や飲料水の安全情報を理解する 【能力記述】・食品や飲料水の安全について聞くことができる ・表示やラベルなどが確認できる 0804020 商品に添えられた情報を的確に理解する 【能力記述】・求める情報のありかを探し、たどり着くことができる ・提供された商品情報（文字情報）を読み取ることができる ・追加情報を求めることができる …等		
2)教室活動の展開(概要)	・薬の服用法を読み取る。 ・病院で処方箋をもらい、薬局で薬をもらうまでの会話を練習する。		
3)目的	・自分に必要な薬の情報を探し出す。		
4)準備	【指導者】 ・薬袋のサンプル（多数） ・薬局でのモデル会話（VTR等）	【学習者】	【協力者】
5)活動の流れ	【指導者】	【学習者】	【協力者】
①病院事情の復習 ・「病院受付→診察室→会計→薬局」という流れを思い出す。 ・「処方箋」「薬局」などのキーワードを確認する。			
②薬の服用法に関する語彙表現の確認 ・「食前/食後/食間」，「1日〇回」，「〇日分」等の意味と読み方を確認する。			
③薬袋の読み取り(スキニング) ・「どう使う薬か」，「1日に何回飲むか」，「いつ飲むか」，「何日分の薬か」などについて、スキニングで素早く読み取る。			
④薬局での会話 ・モデル会話（ビデオなど）を見る。 ・表現を確認した上で、ロールプレイを実施する。			
6)留意事項	・生活上の行為の事例のうち、新聞広告や駅の料金表・時刻表等、情報を探し出して読み取るもの全般について応用可能。		

7 参考資料

7. 1 標準的なカリキュラム案で扱う生活上の行為の事例

【日本語】54～55 ページ

- ・ 54 ページから示す「標準的なカリキュラム案で扱う生活上の行為の事例」は冊子「『生活者としての外国人』に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案について」の12～13 ページから再録したものです。
- ・ 56～65 ページに中国語、英語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語での訳を掲載しています。各地域において日本語教育プログラムを作成する際や、学習者が自ら必要な生活上の行為を選択する際の資料として活用してください。

【中文：中国語】第56～57 页

- ・ 从第54页开始列出的“标准教程案中有关生活行为的事例”，重新刊登了小册子“有关针对《在日本生活的外国人》的日语教育标准教程案”中第12、13页中的内容。
- ・ 在第56页和57页列出了中文的译文。请各地区在编写日语教育课程以及学习的人选择自己在生活中所必要的行为时，作为资料加以参考利用。

【English：英語】Page 58-59

- ・ The “Examples of Actions in Daily Life to be Included in the Standard Draft Curriculum” on page 54 onwards is a copy of the content on page 12 and 13 of the “Standard Draft Curriculum of Japanese Education for Foreign Residents.”
- ・ The English translation is on page 58 and 59. Please refer to this part when local governments produce a Japanese language education program and when learners of the Japanese language choose the topics that they need to learn for their everyday lives.

【한국·조선어：韓国・朝鮮語】60-61 페이지

- ・ 54 페이지부터 열거하는 ‘표준적인 커리큘럼 안에서 취급하는 생활상의 행위 사례’는 책자 ‘생활자로서의 외국인에 대한 일본어 교육의 표준적인 커리큘럼 안에 대하여’의 12, 13 페이지부터 다시 수록한 것입니다.
- ・ 60 페이지와 61 페이지에 한국·조선어 번역을 게재하였습니다. 각 지역에서 일본어 교육 프로그램을 작성할 때나 학습자 자신이 필요한 생활상의 행위를 선택할 때 자료로 활용하십시오.

【Português：ポルトガル語】páginas 62 a 63

- ・ Os “Exemplos de situações do cotidiano tratadas na sugestão de currículo padrão”, a partir da página 54, são compilações do livreto “Sugestão de currículo padrão do ensino de japonês aos estrangeiros que vivem no Japão”, páginas 12 e 13.
- ・ A tradução para o português está nas páginas 62 e 63. Esperamos que esse material seja aproveitado em várias regiões para se elaborar o programa de ensino do japonês, ou para que o próprio estudante possa escolher uma situação do cotidiano em que necessita utilizar o japonês.

【Español：スペイン語】Páginas 64 - 65

- ・ Los “ejemplos de acción en la vida tratados en el plan de currículo estándar”, los cuales se indican a partir de la página 54, son los extraídos desde las páginas 12 - 13 del Librillo “Plan de currículo estándar de enseñanza del idioma japonés para ‘extranjeros que viven en Japón’”.
- ・ En las páginas 64 - 65 está la traducción al español. Aprovechenla como referencia cuando elaboren un programa de enseñanza del idioma japonés en cada región o para que aquellos que aprendan el idioma japonés puedan seleccionar la acción que quieren tomar en la vida.

【日本語】標準的なカリキュラム案で扱う生活上の行為の事例

I 健康・安全に暮らす

01 健康を保つ

- (01) 医療機関で治療を受ける
 - 01 隣人に容態を伝えて助言を求める
 - 02 初診受付で手続をする
 - 03 医者の診察を受ける
 - 04 病気への対処法・生活上の注意などを質問し答えを理解する
- (02) 薬を利用する
 - 01 医療機関で処方せんをもらい、内容を確認する
 - 02 症状を説明し、薬を求める
 - 03 薬剤師等の「効能、用法、注意」の説明を理解する
- (03) 健康に気を付ける
 - 01 流行性の病気についての情報を理解し適切に対処する
 - 02 食品や飲料水の安全情報を理解する

02 安全を守る

- (04) 事故に備え、対応する
 - 01 各種の標識・注意書き等を理解する（高電圧危険、感電注意、立入禁止等）
 - 02 有効な施錠の仕方について理解する
 - 03 警察（110 番）に電話する
 - 04 近くの人に知らせる（事件等）
 - 05 救急車を要請する
 - 06 近くの人に知らせる（事故等）
- (05) 災害に備え、対応する
 - 01 自治体広報、掲示、看板等を理解し、現地を確認する
 - 02 避難場所・方法を理解する・人に聞く
 - 03 ☆地震について理解する
 - 04 身を守る（地震発生時）
 - 05 ☆台風について理解する
 - 06 天気予報・台風情報に留意し理解する
 - 07 消防・救急（119 番）や警察（110 番）に電話する（火災等）

II 住居を確保・維持する

03 住居を確保する

- (06) 住居を確保する
 - 01 不動産業者に相談する
 - 02 居住する地域を選択する
 - 03 賃貸契約をする
 - 04 引っ越し業者に依頼する
 - 05 必要な手続を行う

04 住環境を整える

- (07) 住居を管理する
 - 01 ☆開始手続について理解する
 - 02 申込みをする（電気、ガス、水道等）

III 消費活動を行う

05 物品購入・サービスを利用する

- (08) 物品購入・サービスを利用する
 - 01 必要な品物を扱う店等を探す
 - 02 ☆目的によって店舗の種類を使い分けることを知る
 - 03 販売しているところを探す
 - 04 デパート、スーパーマーケット、コンビニ、電器店、書店等で買い物をする
 - 05 店内の表示を見たり店員に尋ねて欲しいものの場所を探す
 - 06 売り場を尋ねる
 - 07 店員に商品について尋ねる
 - 08 値段を知る
 - 09 商品の機能や値段を尋ねる
 - 10 商品の表示を読む
 - 11 値段・税率を計算する
 - 12 試着を申し出る
 - 13 色違いのものを頼む
 - 14 サイズの変更を申し出る
 - 15 ポイントカードや割引券を利用する
 - 16 クレジットカードを利用する
 - 17 必要なものを選んで購入する
 - 18 支払いをする（対面販売）
 - 19 返品・交換をする
 - 20 注文する
 - 21 店ごとに受けられるサービスと代価を理解する（飲食店等の利用）
 - 22 希望の食べ物を扱う店を探す
 - 23 電話で予約する
 - 24 店員と話す
 - 25 店で人数や禁煙・喫煙などの希望を伝える
 - 26 メニューを読む
 - 27 メニューを選んで注文する
 - 28 食券を買う
 - 29 追加の注文をする
 - 30 支払いをする（飲食店）
 - 31 ☆店ごとに受けられるサービスと代価を理解する（各種サービスの利用）
 - 32 店舗を探す
 - 33 利用方法を知る
 - 34 コンビニエンスストアのサービス（ATM、ファックス、公共料金の支払い等）を利用する
 - 35 クリーニング店、レンタルビデオ店、美容院、理容店を利用する
 - 36 商品に添えられた情報を的確に理解する
 - 37 新聞広告・折り込み広告を理解する
 - 38 レシートを確認する
 - 39 レシートを理解する

- 40 代金を支払う
- 41 カードの利用の可・不可を確認する

06 お金を管理する

- (09) 金融機関を利用する
 - 01 申込みをする（口座開設）
 - 02 預金の引出しをする

IV 目的地に移動する

07 公共交通機関を利用する

- (10) 電車、バス、飛行機、船等を利用する
 - 01 発車する時刻や掛かる時間を尋ねる
 - 02 目的地への行き方を尋ねる
 - 03 券売機を利用する
- (11) タクシーを利用する
 - 01 タクシー乗り場を探す
 - 02 道路でタクシーを止める
 - 03 行き先を告げる
 - 04 運賃を聞き取り、支払う

08 自力で移動する

- (12) 徒歩で移動する
 - 01 住所表示、交差点名、街の案内地図などを読む
 - 02 地図上で目的地を確認する
 - 03 地図を書いてもらう
 - 04 目的地の方向や距離を確認する
 - 05 目的地までの道を尋ねる

VII 人とかわかる

14 他者との関係を円滑にする

- (31) 人と付き合う
 - 01 ☆あいさつの種類と目的を理解する
 - 02 ☆TPOに合った適切なあいさつ形式を理解する
 - 03 時宜に合ったあいさつを学んで実行する
 - 04 ☆あいさつの文化的相違を理解する
 - 05 相手に合わせたあいさつをする
 - 06 日常のあいさつをする
 - 07 人間関係のきっかけを作るあいさつをする
 - 08 ☆自己紹介の仕方を理解する
 - 09 ☆相手や状況に応じた自己紹介の仕方を理解する
 - 10 仕事上の公的な自己紹介をする
 - 11 私的な場面で自己紹介をする
 - 12 分からないとき、疑問に思ったとき信頼できる相手に質問する（日本の一般的なマナー等について）

VIII 社会の一員となる

15 地域・社会のルール・マナーを守る

- (33) 住民としての手続をする
 - 01 ☆各種手続の種類や内容について理解する
 - 02 役所の受付で外国人登録窓口の場所を尋ねる
 - 03 支払方法を確認する（各種税金）
 - 04 必要性を確認する（確定申告、還付申告）

(34) 住民としてのマナーを守る

- 01 居住地域のゴミ出しについて地域の公的機関で発行している生活情報パンフレット等で確認し理解する
- 02 居住地域のゴミ出しの方法について隣人に質問する
- 03 マナーについて人に相談する

16 地域社会に参加する

(35) 地域社会に参加する

- 01 居住地の自治会について隣人に尋ねる
- 02 自治会の会員になる
- 03 行事に参加する

IX 自身を豊かにする

20 余暇を楽しむ

(44) 余暇を楽しむ

- 01 ☆余暇を過ごす場所や利用方法を知る
- 02 適当な人からアドバイスをもらう
- 03 同僚や周囲の人からの口コミ情報を得る
- 04 ☆施設の種類や制度について知る（地域の公共施設）
- 05 利用方法を尋ねる（地域の公共施設）

X 情報を収集・発信する

21 通信する

(45) 郵便・宅配便を利用する

- 01 ☆郵便局のシステムを理解する
- 02 手紙や葉書を書いて送る
- 03 不在配達通知に対応する
- 04 宅配便を受け取る

(46) インターネットを利用する

- 01 ☆インターネットのサービス内容・利用方法を理解する
- 02 インターネット検索の方法を人に尋ねて理解する
- 03 電子メールを書く

(47) 電話・ファクシミリを利用する

- 01 電話を掛ける
- 02 応答する

22 マスメディアを利用する

(48) マスメディア等を利用する

- 01 テレビ番組を見る

※「I」～「X」は生活上の行為の大分類、「01」～「22」は中分類、「(01)」～「(48)」は小分類に対応している。なお、「標準的なカリキュラム案」120ページ「生活上の行為の分類一覧」から「V 子育て・教育を行う」及び「VI 働く」を省いてある。

※「(数字)」は基本的な生活基盤の形成に不可欠である、又は、安全に関わり緊急性があるために必要不可欠な生活上の行為の事例を示す。「☆」は基本的な生活基盤の形成、又は安全に関わり緊急性があるため、情報として知っておく必要があると考えられるものを示す。

I 健康安全地生活

01 保持健康

(01) 在医疗机构接受治疗

- 01 告诉邻居病情，请求给予指点
- 02 在初诊挂号处办理手续
- 03 接受医生的诊察
- 04 询问疾病的应对法和在生活上的注意事项等并理解其答复

(02) 服药

- 01 在医疗机构得到处方、确认内容
- 02 说明病情、要求开药
- 03 理解药剂师等有关「功效、服用方法、注意事项」的说明

(03) 注意健康

- 01 理解关于流行病的信息并做出正确的应对
- 02 理解食品及饮用水的安全信息

02 确保安全

(04) 预防并应对事故

- 01 理解各种标识和注释等（高压电危险、注意触电、禁止入内等）
- 02 理解有效的上锁方法
- 03 给警察（拨打 110）打电话
- 04 通知附近的人（事件等）
- 05 要求派救护车
- 06 通知附近的人（事故等）

(05) 预防并应对灾害

- 01 理解自治体的宣传、布告、牌子等，确认现场
- 02 理解并向人询问疏散场所和方法
- 03 ☆理解地震
- 04 保护人身安全（发生地震时）
- 05 ☆理解台风
- 06 留意并理解天气预报和台风信息
- 07 给消防・救急（拨打 119）及警察（拨打 110）打电话（火灾等）

II 确保并维持住宅

03 确保住宅

(06) 确保住宅

- 01 与房地产公司协商
- 02 选择居住地区
- 03 签订租赁合同
- 04 委托搬家公司
- 05 办理必要的手续

04 完善居住环境

(07) 管理住宅

- 01 ☆理解开始手续
- 02 申请（电、煤气、自来水等）

III 进行消费

05 购物・利用服务

(08) 购物・利用服务

- 01 寻找经销所需要的商品的商店等
- 02 ☆知道根据目的灵活地利用各类商店
- 03 寻找经销的商店
- 04 在百货商店、超市、方便商店、电器商店、书店等购物
- 05 看店内的标识或者询问店员，寻找自己想买商品的地方
- 06 询问货架柜台
- 07 向店员询问商品
- 08 了解价格
- 09 询问商品的功能及价格
- 10 阅读商品的标识
- 11 计算价格和税率
- 12 提出要求试穿
- 13 拜托拿不同颜色的商品
- 14 提出尺寸变更
- 15 利用积分卡及优惠券
- 16 利用信用卡
- 17 选择并购买所需要的商品
- 18 付款（面对面销售）
- 19 退货・更换
- 20 订购
- 21 理解在每家店内可以享受的服务和价钱（饮食店等的利用）
- 22 寻找有自己想吃食物的餐饮店
- 23 通过电话预订
- 24 与店员说话
- 25 告诉店员人数以及禁烟・吸烟等的要求
- 26 看菜单
- 27 点菜
- 28 购买餐券
- 29 加菜
- 30 付款（餐饮店）
- 31 ☆理解在每家店内可以享受的服务和价钱（各种服务的利用）
- 32 寻找店铺
- 33 了解利用方法
- 34 利用方便商店的服务（A T M、传真、公共事业费的缴纳等）
- 35 利用洗衣店、音像出租店、美发厅、理发店
- 36 正确地理解附在商品上的信息
- 37 理解报纸广告和夹在报刊内的广告
- 38 确认收据
- 39 理解收据

40 付款

41 确认是否可以使用信用卡

06 理财

(09) 利用金融机构

01 申请 (开设账户)

02 提取存款

IV 移动到目的地

07 利用公共交通工具

(10) 利用电车、公共汽车、飞机、轮船等

01 询问发车时间以及路程所需时间

02 询问去目的地的方法

03 利用售票机

(11) 利用出租车

01 寻找出租汽车站

02 在路上打出租

03 告诉目的地

04 询问并支付车费

08 靠自己的力量移动

(12) 徒步移动

01 阅读住址标识、十字路口名称、街道指南地图等

02 在地图上确认目的地

03 请别人画地图

04 确认目的地的方向和距离

05 询问去目的地的路

VII 与人交往

14 与他人保持良好的关系

(31) 与人交往

01 ☆理解打招呼的种类和目的

02 ☆理解符合 TPO 的合适的打招呼形式

03 学习并符合时宜地打招呼

04 ☆理解打招呼的文化性差别

05 适应对方地打招呼

06 日常性地打招呼

07 打招呼以建立起人际关系

08 ☆理解做自我介绍的方法

09 ☆理解根据对方及情况做自我介绍的方法

10 在工作中正式的场合下做自我介绍

11 在非正式的场合下做自我介绍

12 在不懂、遇到疑问时向可以信任的人请教 (有关日本一般性的礼节等)

VIII 成为社会的一员

15 遵守地区和社会的规则和礼仪

(33) 办理居民手续

01 ☆理解各种手续的种类和内容

02 在政府机关接待处询问办理外国人登录的窗口位置

03 确认缴纳方法 (各种税金)

04 确认必要性 (纳税申报、归还申报)

(34) 遵守作为居民的规则

01 确认并理解所居住地区公共机构发行的关于倒垃圾的生活信息宣传册等

02 向邻居请教所居住地区倒垃圾的方法

03 向他人请教规则

16 参与地区社会

(35) 参与地区社会

01 向邻居请教所居住地区自治会的情况

02 成为自治会的会员

03 参加仪式活动

IX 丰富自己的生活

20 享受余暇

(44) 享受余暇

01 ☆了解渡过余暇的场所及利用方法

02 得到适当的人的建议

03 得到同事和周围的人的口头互传的信息

04 ☆了解设施的种类及制度 (地区的公共设施)

05 询问利用方法 (地区的公共设施)

X 收集并发放信息

21 进行通信

(45) 利用邮政和快递服务

01 ☆理解邮局的体系

02 写发书信及明信片

03 处理不在家的投递通知

04 领取快递

(46) 利用互联网

01 ☆理解互联网的服务内容和利用方法

02 向他人请教并理解互联网的检索方法

03 写发电子邮件

(47) 利用电话和传真

01 打电话

02 接收

22 利用大众传媒

(48) 利用大众传媒等

01 观看电视节目

※“Ⅰ”~“Ⅹ”对应生活行为的大分类,“01”~“22”对应中分类,
“(01)”~“(48)”对应小分类。另外,省略了在“标准教程案”
第 120 页中从“生活行为分类一览表”到“Ⅴ 养育孩子和教育”和
“Ⅵ 工作”的部分。

※“(数字)”表示在形成基本生活基础中、或者由于与安全相关具有
紧急性所不可缺少的生活行为的事例。“☆”表示在形成基本生活
基础中、或者由于与安全相关具有紧急性,作为信息应该知道的部分。

I. Living a Healthy and Safe Life

01 Maintaining Health

(01) Being treated at a medical institution

- 01 Explaining your condition and asking a neighbor for advice
- 02 Following the procedure for first-time patients at the reception desk
- 03 Being examined by a doctor
- 04 Asking questions about ways to treat your symptoms, asking questions about measures to take in your daily life and understanding the doctor's answers

(02) Using medicines

- 01 Receiving a prescription at a medical institution and checking the contents of the prescription
- 02 Explaining your symptoms and purchasing medicines
- 03 Understanding "what the medicine is for, directions for use and points to note"

(03) Taking health precautions

- 01 Understanding information about epidemic diseases and taking appropriate measures
- 02 Understanding safety information about food and drinking water

02 Maintaining Safety

(04) Preparing for and handling accidents

- 01 Understanding various signs and notices (high voltage warning, electrification warning, "Do not enter," etc.)
- 02 Understanding how to lock doors and windows properly
- 03 Phoning the police (dial 110)
- 04 Informing a nearby person (in the case of an incident, etc.)
- 05 Asking for an ambulance
- 06 Informing a nearby person (in the case of an accident, etc.)

(05) Preparing for and handling disaster situations

- 01 Understanding local government information, notices and signs and checking relevant sites
- 02 Finding out where the evacuation site is and how to evacuate, asking someone where the evacuation site is and how to evacuate
- 03☆ Learning about earthquakes
- 04 Protecting yourself (when an earthquake occurs)
- 05☆ Learning about typhoons
- 06 Paying attention to and understanding the weather forecast and typhoon information
- 07 Phoning the fire service and the emergency services (dial 119) and phoning the police (dial 110) (when a fire breaks out, etc.)

II. Securing and Maintaining a Residence

03 Securing a Residence

(06) Securing a residence

- 01 Consulting with a real-estate agent
- 02 Selecting an area to live
- 03 Signing a rental contract
- 04 Hiring a moving company
- 05 Following the necessary procedures

04 Preparing to Use the Residence

(07) Managing the residence

- 01☆ Understanding the procedures needed before starting to use the residence
- 02 Applying for services (electricity, gas, water, etc.)

III. Life as a Consumer

05 Purchasing Goods, Utilizing Services

(08) Purchasing goods, utilizing services

- 01 Finding shops, etc. which sell the necessary goods
- 02☆ Learning that you can use different types of shops depending on their purpose
- 03 Finding shops which sell specific goods
- 04 Shopping at a department store, a supermarket, a convenience store, an electric appliance store, a book shop, etc.
- 05 Finding the goods you want to buy by looking at the information in the store and asking a clerk
- 06 Asking a clerk which section sells the goods that you want to buy
- 07 Asking a clerk about a product
- 08 Checking the price
- 09 Asking about the product's functions and price
- 10 Reading information about a product
- 11 Calculating the price and the tax
- 12 Asking if you can try a product on
- 13 Asking for the same product in a different color
- 14 Asking for the same product in a different size
- 15 Using point cards and discount vouchers
- 16 Using a credit card
- 17 Choosing and purchasing what you need
- 18 Making a payment (at the counter)
- 19 Returning or exchanging a product
- 20 Placing an order
- 21 Understanding the services available at each type of shop and their prices (utilization of restaurants, etc.)
- 22 Finding a restaurant which offers what you want to eat
- 23 Making a reservation by phone
- 24 Talking to restaurant staff
- 25 Making requests to restaurant staff, for example, the number of seats you require, smoking/non-smoking seats, etc. at a restaurant
- 26 Reading a menu
- 27 Choosing and ordering a dish
- 28 Purchasing a meal ticket
- 29 Placing an additional order
- 30 Making a payment (at a restaurant)
- 31☆ Understanding the services available at each type of shop and their prices (utilization of various services)
- 32 Finding a shop
- 33 Learning how to use services
- 34 Using the services available at convenience stores (an ATM, a fax machine, payment of utility bills, etc.)
- 35 Using a dry cleaning shop, a video rental shop, hairdressers and barbers shops
- 36 Correctly understanding information attached to a product
- 37 Understanding newspaper advertisements and flyers
- 38 Checking receipts
- 39 Understanding receipts

- 40 Making a payment
- 41 Checking whether a card can be used or not

06 Managing Your Money

(09) Using financial institutions

- 01 Applying for a service (opening an account)
- 02 Withdrawing your money

IV. Traveling to a Destination

07 Using Public Transportation Systems

(10) Using a train, a bus, a plane, a vessel, etc.

- 01 Asking about the departure time and how long it takes to get to the destination
- 02 Asking how to get to a destination
- 03 Using a ticket machine

(11) Using a taxi

- 01 Finding a taxi stand
- 02 Stopping a taxi in the street
- 03 Telling the driver the destination
- 04 Understanding and paying the fare

08 Traveling on Foot

(12) Traveling on foot

- 01 Reading an address and the name of an intersection, understanding a map of a town, etc.
- 02 Checking the destination on a map
- 03 Asking someone to draw a map
- 04 Checking the direction and the distance to a destination
- 05 Asking how to get to a destination

VII. Interacting with People

14 Building Good Relationships with People

(31) Interacting with people

- 01☆ Understanding the different types of greetings and their purposes
- 02☆ Understanding the appropriate forms of greeting in accordance with the situation
- 03 Learning the appropriate greeting for each occasion and using the greetings
- 04☆ Understanding the differences in greetings between different cultures
- 05 Using the greeting which is appropriate for the person you are talking to
- 06 Greeting people in your daily life
- 07 Greeting people as a way to start relationships with them
- 08☆ Understanding how to introduce yourself
- 09☆ Understanding suitable ways to introduce yourself in accordance with the situation and the person you are talking to
- 10 Introducing yourself officially in a business situation
- 11 Introducing yourself in your personal life
- 12 Asking questions to someone you trust when there is something you do not understand or something you are not sure about (such as general manners in Japan)

VIII. Being a Member of Society

15 Following the Rules and Manners of the Local Area and Society

(33) Following the procedures required of a resident

- 01☆ Understanding the type and content of various procedures
- 02 Inquiring at the reception desk of a government office about the location of the counter for “alien registration”
- 03 Checking how to make payments (various taxes)

- 04 Checking procedures which apply to you (the final income tax return, making an application for a tax refund)

(34) Following rules for residents

- 01 Checking and understanding the rules for putting the garbage out in your area by looking at living information pamphlets, etc. issued by local public agencies.
- 02 Asking a neighbor how to put the garbage out in your area
- 03 Consulting with someone about the rules

16 Taking Part in the Local Community

(35) Taking part in the local community

- 01 Asking a neighbor about the residents’ association in your area
- 02 Becoming a member of the residents’ association
- 03 Participating in events

IX. Living a Fulfilling Life

20 Enjoying Your Leisure Time

(44) Enjoying your leisure time

- 01☆ Finding out about places to spend the leisure time and how to use the places
- 02 Receiving advice from appropriate people
- 03 Obtaining word-of-mouth information from your colleagues and other people around you
- 04☆ Learning about the different types of local public facilities and their services
- 05 Asking staff how to use local public facilities

X. Collecting and Sending Information

21 Using Communications

(45) Using the postal service and home delivery services

- 01☆ Understanding post office services
- 02 Writing and sending letters and postcards
- 03 Responding to a notice of non-delivery
- 04 Receiving a home-delivered parcel

(46) Using the internet

- 01☆ Understanding internet services and how to use them
- 02 Asking someone how to do an internet search and understanding how to do it
- 03 Writing an e-mail

(47) Using a telephone and a fax

- 01 Making a phone call
- 02 Receiving a phone call

22 Using Mass Media

(48) Using mass media, etc.

- 01 Watching TV programs

Note: “I-X,” “01-22” and “(01)-(48)” respectively correspond to the “main topics,” the “sub topics” and the “small topics” regarding actions in daily life. This document does not include “V. Raising and Educating Children” and “VI. Working” contained in the “List of Topics Regarding Actions in Daily Life” on page 120 of the “Standard Draft Curriculum.”

Note: Actions with the underlined numbers (“XX”) are essential actions because they are indispensable for basic daily living or because they are related to safety and therefore need to be understood urgently. Items with the star mark (“☆”) are needed because they are indispensable for basic daily living or because they are related to safety and therefore need to be understood urgently.

I 건강하고 안전하게 지낸다

01 건강을 유지한다

(01) 의료기관에서치료를 받는다

- 01 옆 사람에게 용태를 설명하고 조언을 구한다
- 02 초진 접수부에서 수속을 한다
- 03 의사의 진찰을 받는다
- 04 질병에 대한 대처법·생활상의 주의사항 등을 질문하고 답변을 이해한다

(02) 약을 이용한다

- 01 의료기관에서 처방전을 받고 내용을 확인한다
- 02 증상을 설명하고 약을 요구한다
- 03 약제사 등의 ‘효능, 용법, 주의사항’ 설명을 이해한다

(03) 건강에 주의를 기울인다

- 01 유행성 질병에 대한 정보를 이해하고 적절히 대처한다
- 02 식품이나 음료수의 안전정보를 이해한다

02 안전을 지킨다

(04) 사고에 대비하고 대응한다

- 01 각종 표지판·주의 등을 이해한다(고전압 위험, 감전 주의, 출입 금지 등)
- 02 유효한 자물쇠 채우는 방법에 대해 이해한다
- 03 경찰(110 번)에 전화한다
- 04 이웃 사람에게 알린다(사건 등)
- 05 구급차를 요청한다
- 06 이웃 사람에게 알린다(사고 등)

(05) 재해에 대비하고 대응한다

- 01 자치단체 홍보, 게시, 간판 등을 이해하고, 현지를 확인한다
- 02 대피 장소·방법을 이해한다 ·다른 사람에게 묻는다
- 03 ☆지진에 대해 이해한다
- 04 몸을 보호한다(지진 발생 시)
- 05 ☆태풍에 대해 이해한다
- 06 일기예보·태풍 정보에 유의하고 이해한다
- 07 소방·구급(119 번)이나 경찰(110 번)에 전화한다(화재 등)

II 주거를 확보·유지한다

03 주거를 확보한다

(06) 주거를 확보한다

- 01 부동산업자와 상담한다
- 02 거주할 지역을 선택한다
- 03 임대계약을 한다
- 04 이사업자에게 의뢰한다
- 05 필요한 수속을 한다

04 주거환경을 정비한다

(07) 주거를 관리한다

- 01 ☆개시 수속에 대해 이해한다
- 02 신청을 한다(전기, 가스, 수도 등)

III 소비생활을 한다

05 물품구입·서비스를 이용한다

(08) 물품구입서비스를 이용한다

- 01 필요한 물품을 취급하는 점포 등을 찾는다
- 02 ☆목적에 따라 점포의 종류를 구분할 줄 안다
- 03 판매하고 있는 곳을 찾는다
- 04 백화점, 슈퍼마켓, 편의점, 전기제품점, 서점 등에서 쇼핑을 한다
- 05 점포 내의 표시를 보거나 점원에게 물어 필요한 것이 있는 장소를 찾는다
- 06 매장을 묻는다
- 07 점원에게 상품에 대해 묻는다
- 08 가격을 안다
- 09 상품의 기능이나 가격을 묻는다
- 10 상품의 표시를 읽는다
- 11 가격·세율을 계산한다
- 12 입어보겠다고 말한다
- 13 다른 색 제품을 부탁한다
- 14 사이즈를 바꾸어 달라고 한다
- 15 포인트 카드나 할인권을 이용한다
- 16 신용카드를 이용한다
- 17 필요한 것을 골라 구입한다
- 18 지불을 한다(대면 판매)
- 19 반품·교환을 한다
- 20 주문한다
- 21 점포별로 받을 수 있는 서비스와 대가를 이해한다(음식점 등의 이용)
- 22 먹고 싶은 음식을 취급하는 점포를 찾는다
- 23 전화로 예약한다
- 24 점원과 대화한다
- 25 점포에서 인원수나 금연·흡연 등의 희망을 말한다
- 26 메뉴를 읽는다
- 27 메뉴를 골라 주문한다
- 28 식권을 산다
- 29 추가 주문을 한다
- 30 지불을 한다(음식점)
- 31 ☆점포별로 받을 수 있는 서비스와 대가를 이해한다(각종 서비스의 이용)
- 32 점포를 찾는다
- 33 이용방법을 안다
- 34 편의점의 서비스(ATM, 팩스, 공공요금 납부 등)를 이용한다
- 35 세탁소, 비디오 대여점, 미용실, 이발소를 이용한다
- 36 상품에 첨부된 정보를 정확하게 이해한다
- 37 신문광고·전단지 광고를 이해한다
- 38 영수증을 확인한다
- 39 영수증을 이해한다

- 40 대금을 지불한다
- 41 카드를 이용할 수 있는지 확인한다

06 돈을 관리한다

- (09) 금융기관을 이용한다
 - 01 신청을 한다(계좌 개설)
 - 02 예금을 인출한다

IV 목적지로 이동한다

07 대중교통수단을 이용한다

- (10) 전차, 버스, 비행기, 선박 등을 이용한다
 - 01 발차 시각이나 소요 시간을 묻는다
 - 02 목적지까지 가는 방법을 묻는다
 - 03 매표기를 이용한다
- (11) 택시를 이용한다
 - 01 택시 승차장을 찾는다
 - 02 도로에서 택시를 잡는다
 - 03 행선지를 말한다
 - 04 운임을 알아듣고 지불한다

08 자력으로 이동한다

- (12) 도보로 이동한다
 - 01 주소 표시, 교차로명, 거리안내 지도 등을 읽는다
 - 02 지도상에서 목적지를 확인한다
 - 03 지도를 그려 달라고 한다
 - 04 목적지의 방향과 거리를 확인한다
 - 05 목적지까지 가는 길을 묻는다

VII 사람들과 교류한다

14 다른 사람과의 관계를 원만히 한다

- (31) 사람들과 어울린다
 - 01 ☆인사의 종류와 목적을 이해한다
 - 02 ☆TPO에 맞는 적절한 인사 형식을 이해한다
 - 03 시의 적절한 인사를 배우고 실행한다
 - 04 ☆인사의 문화적 차이를 이해한다
 - 05 상대방에게 맞는 인사를 한다
 - 06 일상적인 인사를 한다
 - 07 인간관계의 계기를 만드는 인사를 한다
 - 08 ☆자기소개 방법을 이해한다
 - 09 ☆상대방과 상황에 맞는 자기소개 방법을 이해한다
 - 10 업무상 공적인 자기소개를 한다
 - 11 사적인 상황에서 자기소개를 한다
 - 12 궁금하거나 의문스러울 때 신뢰할 수 있는 상대방에게 질문한다(일본의 일반적인 매너 등에 대해)

VIII 사회의 일원이 된다

15 지역사회의 틀과 매너를 지킨다

- (33) 주민으로서의 수속을 한다
 - 01 ☆각종 수속의 종류와 내용에 대해 이해한다
 - 02 관공서 접수부에서 외국인등록 창구의 위치를 묻는다
 - 03 납부방법을 확인한다(각종 세금)
 - 04 필요성을 확인한다(확정신고, 환급신고)

(34) 주민으로서의 매너를 지킨다

- 01 거주지역의 쓰레기 배출에 대해 지역의 공공기관에서 발행하는 생활정보 팸플릿 등으로 확인하고 이해한다
- 02 거주지역의 쓰레기 배출방법에 대해 이웃에게 질문한다
- 03 매너에 대해 다른 사람과 상담한다

16 지역사회에 참가한다

(35) 지역사회에 참가한다

- 01 거주지의 자치회에 대해 이웃에게 묻는다
- 02 자치회의 회원이 된다
- 03 행사에 참가한다

IX 자신을 풍요롭게 한다

20 여가를 즐긴다

(44) 여가를 즐긴다

- 01 ☆여가를 즐기는 장소나 이용방법을 안다
- 02 적당한 사람의 조언을 받는다
- 03 동료나 주위 사람으로부터 입소문 정보를 얻는다
- 04 ☆시설의 종류나 제도에 대해 안다(지역의 공공시설)
- 05 이용방법을 묻는다(지역의 공공시설)

X 정보를 수집·발신한다

21 통신한다

(45) 우편택배를 이용한다

- 01 ☆우체국의 시스템을 이해한다
- 02 편지나 엽서를 써서 보낸다
- 03 부재중 배달통지에 대응한다
- 04 택배를 받는다

(46) 인터넷을 이용한다

- 01 ☆인터넷 서비스의 내용·이용방법을 이해한다
- 02 인터넷 검색방법을 다른 사람에게 묻고 이해한다
- 03 이메일을 쓴다

(47) 전화팩스를 이용한다

- 01 전화를 건다
- 02 응답을 한다

22 매스미디어를 이용한다

(48) 매스미디어등을 이용한다

- 01 텔레비전 프로그램을 본다

※ 'I'~'X'는 생활상 행위의 대분류, '01'~'22'는 중분류, '(01)'~'(48)'은 소분류로 대응하고 있다. '표준적인 커리큘럼 안' 120 페이지 '생활상 행위의 분류 일람'에서 'V 육아·교육을 한다' 및 'VI 일한다'는 생략하였다.

※ '(숫자)'는 기본적인 생활기반 형성에 반드시 필요하거나 안전에 관련하여 긴급성이 있기 때문에 필요 불가결한 생활상 행위의 사례를 열거한다. '☆'는 기본적인 생활기반의 형성, 또는 안전에 관련하여 긴급성이 있기 때문에 정보로서 알아둘 필요가 있다고 생각되는 것을 열거한다.

I Viver com saúde e segurança

01 Manter a saúde

(01) Receber tratamento em instituição médica

- 01 Informar o sintoma ao vizinho e lhe pedir conselho
- 02 Fazer os trâmites na primeira consulta
- 03 Ser atendido pelo médico
- 04 Perguntar ao médico sobre os métodos de tratamento e os cuidados no dia-a-dia, e compreender a sua resposta

(02) Tomar o remédio

- 01 Receber a receita médica na instituição médica, e confirmar o seu conteúdo
- 02 Explicar o sintoma, e solicitar remédio
- 03 Compreender a explicação do farmacêutico sobre a eficácia, modo de uso e os cuidados do remédio

(03) Cuidados com a saúde

- 01 Compreender a informação sobre as doenças epidêmicas, e tomar medidas adequadas
- 02 Compreender a informação sobre a segurança alimentar e de água potável

02 Garantir a segurança

(04) Preparar-se para acidentes, e tomar medidas

- 01 Compreender os diversos tipos de sinalização e avisos (Cuidado com Alta Tensão, Cuidado com Choque Elétrico, Proibida a Entrada, etc.)
- 02 Compreender o modo eficaz de trancar a porta
- 03 Telefonar para a polícia (110)
- 04 Avisar a pessoa próxima (em caso de crime, etc.)
- 05 Chamar a ambulância
- 06 Avisar a pessoa próxima (em caso de acidente, etc.)

(05) Preparar-se para catástrofes, e tomar medidas

- 01 Compreender o informativo, aviso ou placa da prefeitura, e confirmar a situação do local
- 02 Compreender o local do refúgio, o modo de fuga, ou perguntar a alguém
- 03☆ Compreender sobre terremoto
- 04 Proteger a si próprio (no momento do terremoto)
- 05☆ Compreender sobre tufão
- 06 Estar atento à previsão de tempo e à informação sobre tufão, e compreender o seu conteúdo
- 07 Telefonar para o corpo de bombeiros e ambulância (119) ou polícia (110) (no caso de incêndio, etc.)

II Garantir e manter a moradia

03 Garantir a moradia

(06) Garantir a moradia

- 01 Consultar a imobiliária
- 02 Escolher a região onde quer morar
- 03 Assinar o contrato de locação residencial
- 04 Solicitar o serviço de transportadora de mudanças
- 05 Realizar os trâmites necessários

04 Organizar o ambiente residencial

(07) Administrar o ambiente residencial

- 01☆ Compreender sobre os trâmites de inscrição
- 02 Fazer a inscrição (serviço de luz, gás, água, etc.)

III Fazer compras e utilizar serviços

05 Fazer compras e utilizar serviços

(08) Fazer compras e utilizar serviços

- 01 Procurar lojas que vendam objetos necessários
- 02☆ Saber utilizar os vários tipos de lojas, conforme o objetivo
- 03 Procurar a loja que venda objeto determinado
- 04 Fazer compras em loja de departamento, supermercado, loja de conveniência, loja de eletrônicos, livraria, etc.
- 05 Ver as indicações do interior da loja ou perguntar ao atendente, e procurar onde se vende o produto almejado
- 06 Perguntar no balcão da loja
- 07 Perguntar ao atendente sobre o produto
- 08 Descobrir o preço
- 09 Perguntar as funções e o preço do produto
- 10 Ler a indicação do produto
- 11 Calcular o preço e a taxa do imposto
- 12 Pedir para experimentar a roupa
- 13 Pedir a mesma peça em cor diferente
- 14 Pedir para trocar o tamanho
- 15 Utilizar o cartão de pontos ou cupom de descontos
- 16 Utilizar o cartão de crédito
- 17 Escolher o produto necessário e comprar
- 18 Efetuar o pagamento (venda no balcão)
- 19 Devolver ou trocar o produto adquirido
- 20 Fazer o pedido
- 21 Compreender os serviços e os preços de cada estabelecimento (no caso de restaurante)
- 22 Procurar um restaurante que serve o prato desejado
- 23 Fazer a reserva pelo telefone
- 24 Falar com o funcionário do restaurante
- 25 Informar o número de pessoas e se prefere a seção de fumantes ou não fumantes
- 26 Ver o cardápio
- 27 Fazer o pedido após escolher o prato no cardápio
- 28 Comprar o vale-refeição
- 29 Fazer pedido adicional
- 30 Efetuar o pagamento (no restaurante)
- 31☆ Compreender os serviços e os preços de cada loja (utilização de diferentes tipos de serviço)
- 32 Procurar a loja
- 33 Conhecer o modo de utilização
- 34 Utilizar os serviços da loja de conveniência (ATM (caixa eletrônico), fax, pagamento de taxas de serviços públicos, etc.)
- 35 Utilizar a lavanderia, locadora de vídeo, salão de beleza, barbeiro, etc.
- 36 Compreender corretamente as informações anexas ao produto
- 37 Compreender os anúncios e encartes dos jornais
- 38 Confirmar o recibo
- 39 Compreender o recibo

40 Efetuar o pagamento

41 Confirmar se é possível utilizar o cartão de crédito

06 Controlar o dinheiro

(09) Utilizar a instituição financeira

01 Fazer a inscrição (abertura de conta)

02 Fazer o saque

IV Deslocar-se para o destino desejado

07 Utilizar o transporte público

(10) Utilizar o trem, ônibus, avião, navio, etc.

01 Perguntar o horário de partida e a duração da viagem

02 Perguntar como chegar ao destino

03 Utilizar a máquina automática de venda

(11) Utilizar o taxi

01 Procurar o ponto de taxi

02 Parar o taxi na rua

03 Informar o destino

04 Perguntar o preço, e pagar

08 Deslocar-se com a própria força

(12) Deslocar-se a pé

01 Ver a indicação de endereço, o nome do cruzamento, o mapa de indicação da cidade, etc.

02 Confirmar o destino no mapa

03 Pedir para desenhar o mapa

04 Confirmar a direção e a distância até o destino

05 Perguntar o caminho até o destino

VII Relacionar-se com as pessoas

14 Manter uma relação harmoniosa com as pessoas

(31) Relacionar-se com as pessoas

01☆ Compreender os tipos e o objetivo do cumprimento

02☆ Compreender o cumprimento adequado para cada momento, local e ocasião.

03 Aprender e praticar o cumprimento adequado para cada momento

04☆ Compreender a diferença cultural do cumprimento

05 Praticar o cumprimento adequado para cada pessoa

06 Praticar o cumprimento do cotidiano

07 Praticar o cumprimento para criar oportunidade de iniciar uma relação pessoal

08☆ Compreender o modo de se fazer a auto-apresentação

09☆ Compreender o modo de se fazer a auto-apresentação conforme a pessoa e a situação

10 Fazer a auto-apresentação oficial, em ambiente de trabalho

11 Fazer a auto-apresentação em ocasião particular

12 Perguntar à pessoa de confiança quando tiver dúvidas (sobre a etiqueta básica do Japão e outras)

VIII Tornar-se membro da sociedade

15 Respeitar as regras e boas maneiras da região e da sociedade

(33) Realizar os trâmites de cidadão

01☆ Compreender os tipos e o conteúdo dos vários trâmites

02 Perguntar na recepção da prefeitura onde fica a seção de registro de estrangeiro

03 Confirmar o modo de pagamento (dos vários impostos)

04 Verificar se há necessidade (de se realizar a declaração de imposto de renda, a declaração de

restituição)

(34) Respeitar as regras de cidadão

01 Verificar e compreender as regras de despejo de lixo da região onde mora, através de panfletos e outros materiais sobre a vida cotidiana divulgados pelo órgão público local

02 Perguntar ao vizinho as regras de despejo de lixo da região onde mora

03 Consultar às pessoas sobre as regras e boas maneiras

16 Participar da sociedade local

(35) Participar da sociedade local

01 Perguntar ao vizinho sobre a associação autônoma dos moradores da região onde vive

02 Tornar-se membro da associação autônoma dos moradores

03 Participar das atividades

IX Desfrutar e enriquecer a vida

20 Divertir-se nos momentos livres

(44) Divertir-se nos momentos livres

01☆ Conhecer o local para passar os momentos livres e o seu modo de utilização

02 Receber conselhos de pessoas apropriadas

03 Obter informação boca-a-boca dos colegas de trabalho e pessoas ao redor

04☆ Conhecer os tipos de instituições e o seu sistema (instituições públicas da região)

05 Perguntar o modo de utilização (instituições públicas da região)

X Coletar e divulgar informações

21 Comunicar-se

(45) Utilizar o correio e o serviço de entrega

01☆ Compreender o sistema de correio

02 Escrever carta ou cartão postal, e enviá-los

03 O que fazer ao receber a notificação de entrega

04 Receber o pacote do serviço de entrega

(46) Utilizar a internet

01☆ Compreender o conteúdo do serviço de internet e o seu modo de uso

02 Perguntar para alguém e compreender o modo de fazer a busca pela internet

03 Escrever email

(47) Utilizar o telefone e o fax

01 Telefonar

02 Atender uma ligação

22 Utilizar a mídia

(48) Utilizar a mídia

01 Assistir aos programas de televisão

* Os números “I” a “X” são divisões maiores, “01” a “22”, divisões intermediárias, e “(01)” a “(48)”, divisões menores. Os capítulos “V Criar e educar filhos” e “VI Trabalhar” da “Sugestão de currículo padrão”, pág. 120, não foram incluídos na “Lista das classificações das situações do cotidiano”.

* Os números sublinhados indicam casos imprescindíveis para a criação da base do cotidiano, ou casos relacionados à segurança, portanto são considerados emergenciais e imprescindíveis para a vida cotidiana. Os casos indicados com “☆” são relacionados à segurança ou à criação da base de uma vida cotidiana básica, portanto são emergenciais e o seu conhecimento é considerado necessário.

I Vivir de forma saludable y segura

01 Mantener una buena salud

(01) Recibir asistencia médica en una institución médica

- 01 Comentarle el estado de salud a un vecino y pedirle consejo
- 02 Hacer trámites en la recepción de primera consulta de una institución médica
- 03 Consultar a un médico
- 04 Preguntar al médico sobre las medidas que se deben tomar para hacer frente a la enfermedad y las advertencias en la vida, etc. y entender la respuesta del médico

(02) Utilizar medicamentos

- 01 Recibir la receta en la institución médica y confirmar su contenido
- 02 Explicar al médico los síntomas presentados y pedirle que le recete medicamentos
- 03 Entender la explicación del farmacéutico, etc. sobre los “efectos, el método de uso y las advertencias” de los medicamentos recetados

(03) Tener cuidado con la salud

- 01 Entender informaciones sobre enfermedades epidémicas y tomar las medidas necesarias adecuadamente
- 02 Entender informaciones sobre la seguridad de los alimentos y del agua potable

02 Tomar precauciones para protegerse

(04) Prepararse contra accidentes y tomar las medidas necesarias

- 01 Entender las señales y advertencias de diversa índole (peligro alto voltaje, advertencia de descarga eléctrica, prohibición de entrada, etc.)
- 02 Entender métodos efectivos para cerrar con cerradura
- 03 Hacer una llamada de emergencia a la policía (número 110)
- 04 Avisar a alguien que está cerca (sucesos, etc.)
- 05 Pedir una ambulancia
- 06 Avisar a alguien que está cerca (accidentes, etc.)

(05) Prepararse contra desastres y tomar las medidas necesarias

- 01 Entender informaciones públicas de las autoridades locales, carteles, letreros, etc. y confirmar el lugar
- 02 Entender o preguntar sobre el lugar y el método de refugio
- 03☆ Tener los conocimientos necesarios sobre terremotos
- 04 Protegerse (En caso de terremotos)
- 05☆ Tener los conocimientos necesarios sobre tifones
- 06 Prestar atención a la información meteorológica y de tifones y entenderla
- 07 Hacer llamadas de emergencia a los bomberos/ambulancias (número 119) y/o a la policía (número 110) (en caso de incendios, etc.)

II Alquilar una vivienda y mantenerla

03 Alquilar una vivienda

(06) Alquilar una vivienda

- 01 Consultar con una agencia inmobiliaria
- 02 Elegir dónde vivir
- 03 Firmar un contrato de alquiler de vivienda
- 04 Contratar una compañía de mudanza
- 05 Hacer los trámites necesarios

04 Ordenar el ambiente de la vivienda

(07) Administrar la vivienda

- 01☆ Entender los trámites iniciales
- 02 Solicitar los servicios públicos (electricidad, gas, agua, etc.)

III Hacer actividad del consumo

05 Comprar artículos y utilizar servicios

(08) Comprar artículos y utilizar servicios

- 01 Buscar tiendas, etc. que vendan los artículos necesarios
- 02☆ Aprender a utilizar diferentes tipos de establecimientos según los objetivos
- 03 Buscar lugares donde se vendan los artículos necesarios
- 04 Hacer compras en grandes almacenes, supermercados, tiendas de 24 horas, tiendas de electrodomésticos, librerías, etc.
- 05 Buscar la sección donde se venden los artículos que se quiere comprar, mirando las indicaciones dentro del establecimiento o preguntando a los dependientes
- 06 Preguntar sobre la sección de venta
- 07 Preguntar a un dependiente sobre artículos
- 08 Conocer el precio
- 09 Preguntar sobre las funciones y el precio de un artículo
- 10 Leer el etiquetado del artículo
- 11 Calcular el precio y el impuesto
- 12 Preguntar si puede probarse la ropa
- 13 Pedir un modelo de otro color
- 14 Solicitar el cambio de tamaño
- 15 Aprovechar la tarjeta de puntos o el cupón de descuento
- 16 Utilizar la tarjeta de crédito
- 17 Escoger y comprar los artículos necesarios
- 18 Pagar (venta personalizada)
- 19 Devolver o cambiar el artículo comprado
- 20 Hacer un pedido
- 21 Entender los servicios y los precios de cada establecimiento (utilización de restaurantes, etc.)
- 22 Buscar un restaurante que ofrezca comidas que se quiera comer
- 23 Hacer una reserva por teléfono
- 24 Hablar con el dependiente
- 25 Decir al dependiente en el restaurante el número de personas y/o si prefieren un asiento para fumadores/no fumadores
- 26 Leer el menú
- 27 Escoger platos y pedirlos
- 28 Comprar un vale de comida
- 29 Hacer un pedido suplementario
- 30 Pagar (restaurantes)
- 31☆ Entender los servicios y los precios de cada restaurante (utilización de diferentes servicios)
- 32 Buscar tiendas
- 33 Conocer métodos de aprovechamiento
- 34 Aprovechar los servicios de las tiendas de 24 horas (cajero automático, fax, pago de las tarifas de los servicios públicos, etc.)
- 35 Aprovechar tintorerías, tiendas de alquiler de videos, salones de belleza y peluquerías
- 36 Entender correctamente la información que acompaña al artículo
- 37 Entender la publicidad de periódicos y encartes
- 38 Confirmar recibos
- 39 Entender recibos

- 40 Pagar el importe
- 41 Confirmar si se puede pagar con la tarjeta de crédito o no

06 Administrar el dinero

(09) Aprovechar instalaciones financieras

- 01 Solicitar (apertura de una cuenta)
- 02 Sacar dinero depositado de la cuenta

IV Desplazarse al destino

07 Utilizar medios de transporte públicos

(10) Tomar el tren, el autobús, el avión, el barco, etc.

- 01 Preguntar sobre la hora de partida y el tiempo que se tarda
- 02 Preguntar sobre cómo ir al destino
- 03 Usar la máquina expendedora de boletos

(11) Tomar el taxi

- 01 Buscar la parada de taxi
- 02 Parar un taxi en la calle
- 03 Decir al chofer el destino
- 04 Escuchar la tarifa y pagarla

08 Moverse por sí mismo

(12) Moverse caminando

- 01 Leer la indicación de la dirección, el nombre del cruce, el plano informativo de la comunidad, etc.
- 02 Confirmar el destino sobre el plano informativo
- 03 Pedir a alguien que dibuje un mapa
- 04 Confirmar la dirección y la distancia hasta el destino
- 05 Preguntar sobre cómo ir al destino

VII Relacionarse con la gente

14 Relacionarse con otros sin problemas

(31) Relacionarse con la gente

- 01☆ Entender los tipos de saludos y sus objetivos
- 02☆ Entender las formas de saludo adecuadas al tiempo, al lugar y a la ocasión
- 03 Aprender los saludos oportunos y practicarlos
- 04☆ Entender la diferencia cultural de los saludos
- 05 Saludar de acuerdo con el interlocutor
- 06 Hacer saludos cotidianos
- 07 Saludar a otros para establecer relaciones humanas
- 08☆ Entender cómo presentarse
- 09☆ Entender las formas de autopresentación adecuadas según los interlocutores y las situaciones
- 10 Hacer una autopresentación oficial en el trabajo
- 11 Presentarse en escenarios privados
- 12 Preguntar a alguien de confianza cuando no entienda o tenga dudas (Sobre los modales generales de Japón)

VIII Hacerse miembro de la sociedad

15 Respetar las reglas y los modales de la comunidad y la sociedad

(33) Hacer los trámites necesarios como residente

- 01☆ Entender los tipos de trámites y sus contenidos
- 02 Preguntar sobre dónde se encuentra la ventanilla de registro de extranjería en el ayuntamiento
- 03 Confirmar el método de pago (impuestos de diversa índole)
- 04 Confirmar la necesidad (declaración de la renta, solicitud de devolución)

(34) Respetar los modales como residente

- 01 Confirmar y entender cómo tirar la basura en la comunidad donde vive mediante el folleto sobre la información de la vida publicado por las organizaciones públicas locales
- 02 Preguntar a un vecino sobre la manera de tirar la basura

de la comunidad donde vive

- 03 Consultar con la gente sobre modales

16 Participar en la comunidad local

(35) Participar en la comunidad local

- 01 Preguntar a un vecino sobre la asociación de vecinos del lugar donde vive
- 02 Hacerse miembro de la asociación de vecinos
- 03 Participar en eventos

IX Enriquecerse

20 Disfrutar del tiempo libre

(44) Disfrutar del tiempo libre

- 01☆ Conocer lugares donde se puede pasar el tiempo libre y cómo utilizarlos
- 02 Consultar con la persona adecuada
- 03 Conseguir informaciones de forma oral de compañeros de trabajo y personas que se encuentran en los alrededores
- 04☆ Conocer los tipos y sistemas de instalaciones de entretenimiento (instalaciones públicas locales)
- 05 Preguntar sobre cómo utilizar las instalaciones (instalaciones públicas locales)

X Recolectar y emitir informaciones

21 Comunicar

(45) Utilizar el servicio de correo y mensajería

- 01☆ Entender el sistema de correos
- 02 Escribir cartas y tarjetas postales y enviarlas
- 03 Responder al aviso de la distribución durante un periodo de ausencia (*Fuzai Haitatsu Tsuchi*)
- 04 Recibir un objeto enviado por mensajería

(46) Utilizar Internet

- 01☆ Entender el contenido del servicio de Internet y cómo utilizarlo
- 02 Preguntar a alguien sobre cómo utilizar la función de búsqueda de Internet
- 03 Escribir mensajes electrónicos

(47) Utilizar el teléfono/fax

- 01 Hacer llamadas telefónicas
- 02 Contestar llamadas telefónicas

22 Aprovechar medios de comunicación de masa

(48) Aprovechar medios de comunicación de masa, etc.

- 01 Ver programas de televisión

* Los apartados de “I” a “X” corresponden a la categoría mayor de las acciones en la vida, los de “01” a “22” corresponden a la categoría intermedia y los de “(01)” a “(48)” corresponden a la categoría menor. Están omitidos los apartados “V. Criar y educar a hijos” y “VI. Trabajar” de la “Lista de categorías de las acciones en la vida” que se encuentra en la página 120 del “Plan de currículo estándar”.

* Las acciones citadas con “(número)” son las acciones indispensables para formar la base fundamental de la vida o las acciones en la vida necesarias por su emergencia y relación con la seguridad. Las acciones marcadas con “☆” son las acciones que se considera necesario saber como informaciones, puesto que están relacionadas con la formación de la base fundamental de la vida o con la seguridad por su emergencia.